

令和 6 年 6 月 12 日現在

機関番号：13901

研究種目：特別推進研究

研究期間：2019～2023

課題番号：19H05462

研究課題名（和文）プラズマ誘起生体活性物質による超バイオ機能の展開

研究課題名（英文）Development of "super-bio-functions" by plasma-activated biological substances

研究代表者

堀 勝 (Hori, Masaru)

名古屋大学・低温プラズマ科学研究センター・特任教授

研究者番号：80242824

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 464,100,000円

研究成果の概要（和文）：プラズマ活性乳酸リンゲル液（PAL）の成分として、新たに酢酸エチル、グリセリン酸、トリカルバリル酸を同定し、これら3つを複合的に投与すると正常細胞に対してがん細胞を選択的に殺傷することが分かった。更にトリプトファンに酸素原子を選択的に照射することで、トリプトファンラジカルが高効率に生成されることを発見し、このラジカルが細菌内のGAPDHなどの酵素活性を失活させ、選択的に殺菌することを解明した。また、PALが中皮腫細胞と口腔扁平上皮細胞においてはフェロトーシスと呼ばれる細胞死を誘導することを明らかにした。更にPALによるファーストインヒューマンとして特定臨床研究を開始した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究により、新たなプラズマ誘起活性物質が同定され、またそれらによる生理学的応答の作用機序が解明され、学術的意義は高い。また研究代表者の堀は、2022年11月3日に以下の受賞理由により、内閣府より紫綬褒章を受章した。「低温プラズマ科学の分野において、プラズマの計測方法を確立し、これまで未知であったプラズマプロセス中のラジカルと固体との相互反応機構を定量的に解明し、新しいプラズマの制御方法を世界に先駆け実現した。また、これらの成果により開発した高密度大気圧低温プラズマ装置を医療・農業の分野に展開し、新たな学際領域を開拓するなど、斯学の発展に多大な貢献をした。」

研究成果の概要（英文）：As components of plasma-activated Ringer's lactate solution (PAL), we have newly identified ethyl acetate, glyceric acid, and tricarballylic acid. We found that the combined administration of these three substances selectively kills cancer cells over normal cells. Furthermore, we discovered that selectively irradiating tryptophan with oxygen atoms generates tryptophan radicals with high efficiency. These radicals deactivate enzyme activities such as GAPDH within bacteria, leading to selective bacterial killing. Additionally, we elucidated that PAL induces a type of cell death called ferroptosis in mesothelioma cells and oral squamous epithelial cells. Furthermore, we have initiated a specific clinical study as a first-in-human trial using PAL.

研究分野：プラズマ生命科学

キーワード：Low-temperature plasma plasama medicine plasma agriculture

様式 C - 19、F - 19 - 1 (共通)

1. 研究開始当初の背景

プラズマは、高速電子と気体分子の衝突による電離や解離から生成され、化学反応性に富んだ集団 [イオン、ラジカル、電子、光の集合体] から成る。プラズマ技術は、材料の超微細加工など、大規模集積回路製造工程の 70%以上で使われるなど、ほぼ全ての最先端産業を支える基幹科学技術である。真空中 (減圧下) では、気体の温度が電子温度よりも極めて低い、「低温プラズマ」が生成される。一方、大気圧では、多数の粒子の衝突により、ガスの温度が 5000 以上まで加熱され「熱プラズマ」となる。しかし、この 15 年間で、室温程度の「低温大気圧プラズマ」が開発され、生物組織に直接プラズマ照射が可能になった。その結果、低温プラズマ照射によって、がん細胞の死滅や創傷治癒への有効性を示す画期的な成果が、2007 年のプラズマ医療国際会議を皮切りに、世界中で報告され、プラズマ医療研究が急速に勃興した。細胞および動物実験により、我々は、プラズマを照射した生体液もしくは生体適用液 (以降、活性液) が、多様ながんの高選択アポトーシス死滅、再生が不可能であった中枢神経細胞の増殖と分化、及び植物の驚異的成長促進などの超バイオ現象を引き起こすことを見出し、プラズマバイオ領域を世界的に先導してきた。また、プラズマ科学を医科学、分子生物学へ展開して、プラズマによる活性液が生体系 (遺伝子、代謝、免疫、シグナル伝達) に与える影響について組織的に解析してきたが、その核心となる活性物質の特定や超バイオ現象の機構の解明には至っていなかった。

2. 研究の目的

本研究では、プラズマによって誘起された物質と生体との相互作用を解明することによって、生体活性物質の分子構造と物性を突き止め、超バイオ機能発現の本質を明らかにする。また、活性物質による細胞死、増殖、分化などの真核生物に普遍的な現象の分子機構を解明することであった。更にその成果を基盤にして、プラズマ医療、農業という未来産業を拓く羅針盤となる、学術基盤『プラズマ生命科学』を切り拓き、地球規模の課題である、難病治療や食糧不足などを解決するイノベーションを産み出すことを研究の目的とした。

3. 研究の方法

本研究では、プラズマと生体液もしくは生体適用液との相互作用から生じる活性物質の分子構造やその物性の解明に焦点を絞ら込んだ。生体活性物質と動物細胞との相互反応によって生じる選択死滅と再生・増殖現象に対して、活性物質と生体との分子反応 (シグナル伝達、遺伝子発現、代謝、免疫、ホルモン) を細胞レベルで網羅的・統一的に解明することを目指した。動物 (マウス、ラット)・植物系 (シロイヌナズナ、イチゴ、イネ) で、そのトランスクリプトーム (網羅的遺伝子発現) やメタボローム解析により、その死滅、再生、成長の機構、活性物質に対する生物応答の本質を解明し、その分子機構を体系化することを目指した。

研究は、主として、連携研究によって、生物普遍的な分子機構の解明に研究を深化させ、基礎研究を強化した体制で研究を継続的に発展させた。特に、自然科学研究機構、名古屋大学、九州大学、東北大学との「プラズマバイオコンソーシアム」(2019 年創設) の枠組みも活用して、名大プラズマ科学プラットフォームを共有して、名大生命農学研究科、名大医学研究科、名大附属病院先端医療・臨床研究支援センター、名大農場、名城大プラズマバイオ科学技術センターと理化学研究所分子イメージング科学研究センター及び九大プラズマナノ界面工学センターを有機的に連携することで、研究を推進した。

本特別推進研究の特筆すべき成果として、2023 年度に PAL の特定臨床研究 (ファーストインヒューマン) が行われたことや、水耕栽培に資するラジカル活性トリプトファンの合成に成功したことなどが挙げられ、難病治療や食糧不足などを解決するイノベーションを産み出すことに成功したと言える。

4. 研究成果

まずは、プラズマによって誘起される活性物質の同定の目的に対して、乳酸リンゲル液のプラズマ照射産物として、これまで我々が同定していた酢酸、ギ酸、ピルビン酸、グリオキシル酸、2,3-ジメチル酒石酸 (Tanaka et al., Sci. Rep., 2021) に加え、新たにメチルアミノ基を持つ化合物 (Ito et al., APEX, 2022) を同定した。更に本特別推進研究で雇用した特任准教授 Camelia Miron 氏が本特別推進研究で購入した LC-MS/MS 装置を用いて、新たに酢酸エチル、グリセリン酸、トリカルバリル酸を同定し、それぞれは単独では抗腫瘍効果を示さないが、これら 3 つを複合的に投与すると正常細胞に対してがん細胞を選択的に殺傷することが分かった (Miron et al., EHB, 2023)。更に NMR, LC-MS/MS, GC-MS/MS, ESR を駆使してプラズマ照射した乳酸から酢酸、ギ酸、ピルビン酸、グリオキシル酸などが創出される化学反応経路が推定された (Liu et al., PPAP, 2023)。また、マイクロアレイによる網羅的遺伝子発現解析やリアルタイム PCR 法による詳細な遺伝子発現解析などにより、プラズマ活性培養液 (PAM) は GADD45 シグナル伝達経路を介した酸化ストレス依存的な細胞死を誘導するのに対し、プラズマ活性乳酸リンゲル液 (PAL) は酸化ストレス非依存的な細胞死を誘導することが明らかになった (Tanaka et al.,

Sci. Rep., 2019)。

更に分担研究者伊藤らと共同で、プラズマが直接接触しないラジカルのみでの作用で生成する活性物質に着目し、殺菌と生育促進の機能を併せもつ活性物質の合成を行い、活性物質の反応ダイナミクス機構をまとめることを目的として研究を遂行してきた。主な研究成果としてはベンゼン環やインドール環などを持つアミノ酸にプラズマ中の酸素原子などの酸素ラジカルを選択的に照射することで、細菌の殺菌作用と植物の成長促進を同時に達成することのできる活性水溶液を開発した。その中でもアミノ酸の一種であるトリプトファンに酸素原子を選択的に照射することで、非常に反応性が高いトリプトファンラジカルが高効率に生成されることを発見し、このラジカルが細菌内の解糖系やトリカルボン酸回路で産生する GAPDH などの酵素活性を失活させ、選択的に殺菌することを解明した (Iwata et al., ET & I, 2024)。これらの反応機構の解明により、本研究で開発した酸素ラジカル活性化アミノ酸水溶液は強力な殺菌と同時に植物等の成長の成長促進ができる安全な物質であることが判明し、今後の植物の水耕栽培のみならず医療現場等の殺菌や培養細胞の増殖促進などの応用が期待される。

また、分担研究者豊國らと共同で、プラズマ活性化リンゲル液 (PAL) ががん細胞を特異的に殺傷する分子機構として、中皮腫細胞と口腔扁平上皮細胞においてはフェロトシスによることを初めて明らかにした (Jiang et al., Redox Biology, 2021)。中皮腫細胞においては、PAL 照射後早期にリソソームで一酸化窒素の合成が誘導され、最終的にペルオキシナイトライトがリソソームを傷害し、それに伴ってオートファジーからフェロトシスへの転換が起こることが重要なメカニズムであった。同時に、がん細胞の鉄代謝にも PAL 曝露に伴う大きな変化を見いだした (Jiang et al., FRBM, 2024)。がん細胞内では触媒性の Fe(II)が増加し、過剰な触媒鉄が鉄シャペロン分子 PCBP2 によってミトコンドリアへ運ばれ、致命的なミトコンドリア傷害を起こしていた。また、細胞内触媒鉄の多い細胞ほど、PAL に対する感受性が高いことが判明した。これらは世界的にみてもインパクトの高い仕事で Top10%論文であり、臨床研究の POC となる。また、PAL はマウスにおける舌癌モデルにおいて予防効果があることを初めて示すことができた。

更に研究者吉川・梶山らと共同で、これまでにマウス卵巣がん腹膜播種モデルへの PAM の腹腔内投与が、卵巣がん腹膜播種を抑制し、生存期間を延長することが明らかにしてきた。本研究において、さらに詳細な播種抑制メカニズムを明らかにするために、卵巣がんの counterpart である大網への播種に対する PAM の効果を *in vivo* imaging と組織学的解析を行った。がんの播種 3 日後には対象群において大網組織へのがん細胞の接着及び増殖が認められた (Nakamura et al., Cancers, 2021)。一方、PAM 投与群では、がん細胞の播種が顕著に抑制されていることが明らかとなった。さらに播種巣の組織学的解析により、PAM 投与群において、腫瘍組織内への顕著な M1-type マクロファージの浸潤が見られ、抗腫瘍免疫が誘導された可能性が示唆された。

また、分担研究者片岡らと共同で、これまでに大気圧プラズマを成獣ラットの大脳皮質に照射すると照射 3 日後に幹細胞マーカーを発現する幹細胞様細胞が照射領域の神経組織に多数出現し、それらを初代培養すると増殖して神経系細胞へと分化するニューロスフェアを形成することを明らかにしてきた (Yamato et al., APEX, 2021)。広域電子顕微鏡による網羅的な超微構造解析から、こうしたプラズマ照射後に出現する幹細胞様細胞の多くは、脳内の血管近傍から生ずる可能性が見出された (特願 2022-168671)。さらに、プラズマ照射による細胞の幼若化現象のメカニズムを明らかにするため、血液系培養細胞株を用いたインビトロ実験を実施した。その結果、プラズマ照射した培養液中に生じる分子は細胞分化を促進すること、一方、プラズマが発生する物理エネルギーは細胞を幼若化させることを見出し、プラズマによって誘導される分子と物理エネルギーが細胞分化に対して相反する効果をもたらすことを明らかにした。さらに、細胞を幼若化するプラズマ照射条件の最適化に成功した。

また、分担研究者榊原らと共同で、プラズマ活性化乳酸リンゲル液 (PAL) の植物成長、ひいては農業分野への応用を検討するために、イネ栽培過程に着目しプラズマの実証試験を行った。水田に食用米品種を移植後、定期的なプラズマ直接照射ならびに PAL を浸漬処理により、苗の成長促進、玄米収量や登熟の活性化による品質向上効果が見られた (Hashizume et al., FRR, 2023)。さらに、酒米品種においても同様の結果がみられた。中でも、酒造原料として好まれる心白米の割合が増加したのは大変興味深い。次に PAL 中の化学成分析とそれらによるイネ幼苗の成長促進再構成実験を行った。その結果、成長促進の一部はプラズマ照射により PAL 中に生成する硝酸イオンや過酸化水素の効果で説明できるものの、それ以外の未同定物質による成長促進効果があることが明らかとなった。PAL 中生成する複数の有機酸類の複合的な効果が差分の促進効果をもたらしていると考えられる。さらにトランスクリプトーム解析を行ったところ、硝酸還元・同化系の遺伝子群の発現上昇に加え、植物成長促進ホルモンであるサイトカイニンの生合成系や情報伝達系遺伝子の発現も上昇していることが明らかとなった。これは PAL による成長促進効果を分子生理学的に裏付ける重要な知見である。更に、分担研究者松本らと共同で、これまでにイチゴ栽培過程において定期的な苗への直接プラズマ照射や土壌への PAL 処理により、イチゴ果実中のアントシアニン蓄積量が最大 50%程度増加することを明らかにしていた。さらに研究を進めた結果、いずれのプラズマ処理区において成熟果となるまでの日数が少なくとも 5 日間短縮され、アントシアニン含有量が増加すること、成熟の鍵となるアブシジン酸量が増加し、アントシアニン合成経路の律速となる遺伝子群 (CHS, DFR) とこれを制御する転写因子 Myb10 の遺伝子発現量が活性化されることが示された (論文投稿準備中)。

分担研究者古閑、白谷、中津らと共同で、中津らが構築した遺伝毒性評価系を用いて、細胞毒性を示しつつ、遺伝毒性を示す PAL の開発に成功した (Liu et al., Genes and Environment, 2023)。更に分担研究者古閑・白谷らは、低温プラズマが個体に与える影響の分子機構を解明するために、プラズマ誘起生体活性物質として、種子そのものにプラズマを照射することで物質(種子)の活性化による植物の応答を検討した。これまでに、プラズマ照射の発芽誘導やホルモン変動にもたらす効果が種子の採取年および色 (Pankaj et al., Sci. Rep., 2021) や休眠状態 (Okumura et al., Appl. Phys. Express, 2024) といった、種子側の性質に依存することを明らかにした。さらに、乾燥状態の高温障害イネ種子に対する 3 分間のプラズマ照射が発芽遅延を回復させ、またその機序には DNA のメチル化変動が関わることを突き止めた (Suriyasak et al., ACS Agric. Sci. Technol., 2021)。古閑は、これらの成果を元に、学術変革 A の領域代表としてプラズマ種子科学の大型プロジェクトを立ち上げた。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計121件（うち査読付論文 117件 / うち国際共著 3件 / うちオープンアクセス 32件）

1. 著者名 Ito Daiki, Iwata Naoyuki, Ishikawa Kenji, Nakamura Kae, Hashizume Hiroshi, Miron Camelia, Tanaka Hiromasa, Kajiyama Hiroaki, Toyokuni Shinya, Mizuno Masaaki, Hori Masaru	4. 巻 15
2. 論文標題 Cytotoxicity of plasma-irradiated lactate solution produced under atmospheric airtight conditions and generation of the methyl amino group	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Applied Physics Express	6. 最初と最後の頁 056001 ~ 056001
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.35848/1882-0786/ac6360	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Kato Hiroyuki, Sakai Kiyota, Itoh Shou, Iwata Naoyuki, Ito Masafumi, Hori Masaru, Kato Masashi, Shimizu Motoyuki	4. 巻 7
2. 論文標題 Enhanced Bioremediation of 4-Chlorophenol by Electrically Neutral Reactive Species Generated from Nonthermal Atmospheric-Pressure Plasma	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 ACS Omega	6. 最初と最後の頁 16197 ~ 16203
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acsomega.2c01615	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Shimizu Naohiro, Borude Ranjit R., Tanaka Reiko, Oda Osamu, Hosoe Hiroki, Ino Satoshi, Inoue Yosuke, Hori Masaru	4. 巻 169
2. 論文標題 High-Efficient Hydrogen Generation Study by a Reverse Tailing Pulsed-Plasma Water Dissociation Applying Wet Electrode Method	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of The Electrochemical Society	6. 最初と最後の頁 054507 ~ 054507
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1149/1945-7111/ac6a1b	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 Gamaleev Vladislav, Shimizu Naohiro, Hori Masaru	4. 巻 93
2. 論文標題 Nanosecond-scale impulse generator for biomedical applications of atmospheric-pressure plasma technology	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Review of Scientific Instruments	6. 最初と最後の頁 053503 ~ 053503
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1063/5.0082175	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Adamovich I, Agarwal S, Ahedo E, Alves LL, Baalrud S, Babaeva N, Bogaerts A, Bourdon A, Bruggeman PJ, Canal C, Choi E H, Coulombe S, Donko Z, Graves DB, Hamaguchi S, Hegemann D, Hori M et al	4. 巻 55
2. 論文標題 The 2022 Plasma Roadmap: low temperature plasma science and technology	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Physics D: Applied Physics	6. 最初と最後の頁 373001 ~ 373001
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1361-6463/ac5e1c	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ono Koki, Koide Takashi, Ishikawa Kenji, Tanaka Hiromasa, Kondo Hiroki, Sugawara-Narutaki Aya, Jin Yong, Yasuhara Shigeo, Hori Masaru, Takeuchi Wakana	4. 巻 62
2. 論文標題 Biocompatibility of conformal silicon carbide on carbon nanowall scaffolds	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics	6. 最初と最後の頁 SA1017 ~ SA1017
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.35848/1347-4065/ac9319	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sakamoto Yoshihiro, Tsutsumi Takayoshi, Tanaka Hiromasa, Ishikawa Kenji, Hashizume Hiroshi, Hori Masaru	4. 巻 12
2. 論文標題 Indoor Floor Heel Mark Removal Using Spark Discharges and Pressurized Airflow	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Coatings	6. 最初と最後の頁 1938 ~ 1938
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/coatings12121938	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hori Masaru	4. 巻 6
2. 論文標題 Radical-controlled plasma processes	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Reviews of Modern Plasma Physics	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s41614-022-00084-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Okazaki Yasumasa, Ito Nanami, Tanaka Hiromasa, Hori Masaru, Toyokuni Shinya	4. 巻 56
2. 論文標題 Non-thermal plasma elicits ferrous chloride-catalyzed DMP0-OH	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Free Radical Research	6. 最初と最後の頁 595 ~ 606
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/10715762.2022.2157272	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sakai Ryusei, Kondo Hiroki, Ishikawa Kenji, Ohta Takayuki, Hiramatsu Mineo, Tanaka Hiromasa, Hori Masaru	4. 巻 13
2. 論文標題 Effects of High-Quality Carbon Nanowalls Ionization-Assisting Substrates on Surface-Assisted Laser Desorption/Ionization Mass Spectrometry Performance	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Nanomaterials	6. 最初と最後の頁 63 ~ 63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/nano13010063	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Britun Nikolay, Dennis Christy Peter Raj, Gamaleev Vladislav, Hori Masaru	4. 巻 31
2. 論文標題 Diagnostics of a nanosecond atmospheric plasma jet. Electron and ro-vibrational excitation dynamics	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Plasma Sources Science and Technology	6. 最初と最後の頁 125012 ~ 125012
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1361-6595/aca0bb	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Xi Deng-Ke, Yap Seong Ling, Naresh Kumar Nitturi, Toh Chian Cheng, Ishikawa Kenji, Hori Masaru	4. 巻 52
2. 論文標題 Plasma-Assisted Priming: Improved Germination and Seedling Performance of Papaya	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Sains Malaysiana	6. 最初と最後の頁 599 ~ 611
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.17576/jsm-2023-5202-21	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Liu Yang, Nakatsu Yoshimichi, Tanaka Hiromasa, Koga Kazunori, Ishikawa Kenji, Shiratani Masaharu, Hori Masaru	4. 巻 45
2. 論文標題 Effects of plasma-activated Ringer's lactate solution on cancer cells: evaluation of genotoxicity	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Genes and Environment	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s41021-023-00260-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Liu Yang, Ishikawa Kenji, Tanaka Hiromasa, Miron Camelia, Kondo Takashi, Nakamura Kae, Mizuno Masaaki, Kajiyama Hiroaki, Toyokuni Shinya, Hori Masaru	4. 巻 20
2. 論文標題 Organic decomposition and synthesis reactions in lactated solution exposed to nonequilibrium atmospheric pressure plasma	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Plasma Processes and Polymers	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/ppap.202200193	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tanaka Hiromasa, Mizuno Masaaki, Ishikawa Kenji, Miron Camelia, Okazaki Yasumasa, Toyokuni Shinya, Nakamura Kae, Kajiyama Hiroaki, Hori Masaru	4. 巻 57
2. 論文標題 Plasma activated Ringer's lactate solution	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Free Radical Research	6. 最初と最後の頁 14 ~ 20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/10715762.2023.2182663	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sato Kotaro, Fujii Kouki, Tanaka Hiromasa, Hori Masaru, Hibi Hideharu, Toyokuni Shinya	4. 巻 57
2. 論文標題 Exposure of low-temperature plasma after vaccination in tongue promotes systemic IgM induction against spike protein of SARS-CoV-2	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Free Radical Research	6. 最初と最後の頁 30 ~ 37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/10715762.2023.2190486	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tanaka Hiromasa, Iwata Daijiro, Shibata Yuki, Hase Tetsunari, Onoshima Daisuke, Yogo Naoyuki, Shibata Hirofumi, Sato Mitsuo, Ishikawa Kenji, Nagasawa Ikuo, Hasegawa Yoshinori, Ishii Makoto, Baba Yoshinobu, Hori Masaru	4. 巻 13
2. 論文標題 High-performance glass filters for capturing and culturing circulating tumor cells and cancer-associated fibroblasts	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-023-31265-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 近藤隆、橋爪博司、田中宏昌、石川健治、堀勝	4. 巻 74(2)
2. 論文標題 低温大気圧プラズマによるフリーラジカル生成とその生物学的意義-放射線との比較-	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 化学工業	6. 最初と最後の頁 120-126
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tanaka Hiromasa, Bekeschus Sander, Yan Dayun, Hori Masaru, Keidar Michael, Laroussi Mounir	4. 巻 13
2. 論文標題 Plasma-Treated Solutions (PTS) in Cancer Therapy	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cancers	6. 最初と最後の頁 1737 ~ 1737
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/cancers13071737	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hori Yuki, Iwata Naoyuki, Gamaleev Vladislav, Oh Jun Seok, Murata Tomiyasu, Hori Masaru, Ito Masafumi	4. 巻 18
2. 論文標題 Identification of key neutral species in atmospheric pressure plasma for promoting proliferation of fibroblast cells	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Plasma Processes and Polymers	6. 最初と最後の頁 2000225 ~ 2000225
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/ppap.202000225	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Liu Yang, Ishikawa Kenji, Miron Camelia, Hashizume Hiroshi, Tanaka Hiromasa, Hori Masaru	4. 巻 30
2. 論文標題 Hydrogen peroxide in lactate solutions irradiated by non-equilibrium atmospheric pressure plasma	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Plasma Sources Science and Technology	6. 最初と最後の頁 04LT03 ~ 04LT03
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1361-6595/abbbd4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Eto Ko, Ishinada Chiaki, Suemoto Takuya, Hyakutake Keiichiro, Tanaka Hiromasa, Hori Masaru	4. 巻 36
2. 論文標題 Differential data on the responsiveness of multiple cell types to cell death induced by non-thermal atmospheric pressure plasma-activated solutions	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Data in Brief	6. 最初と最後の頁 106995 ~ 106995
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.dib.2021.106995	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamato Masanori, Tamura Yasuhisa, Tanaka Hiromasa, Ishikawa Kenji, Ikehara Yuzuru, Hori Masaru, Kataoka Yosky	4. 巻 14
2. 論文標題 Brain cell proliferation in adult rats after irradiation with nonequilibrium atmospheric pressure plasma	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Applied Physics Express	6. 最初と最後の頁 067002 ~ 067002
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.35848/1882-0786/ac03c1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Jiang Li, Zheng Hao, Lyu Qinying, Hayashi Shotaro, Sato Kotaro, Sekido Yoshitaka, Nakamura Kae, Tanaka Hiromasa, Ishikawa Kenji, Kajiyama Hiroaki, Mizuno Masaaki, Hori Masaru, Toyokuni Shinya	4. 巻 43
2. 論文標題 Lysosomal nitric oxide determines transition from autophagy to ferroptosis after exposure to plasma-activated Ringer's lactate	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Redox Biology	6. 最初と最後の頁 101989 ~ 101989
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.redox.2021.101989	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Britun Nikolay, Gamaleev Vladislav, Hori Masaru	4. 巻 30
2. 論文標題 Evidence of near-the-limit energy cost NO formation in atmospheric spark discharge	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Plasma Sources Science and Technology	6. 最初と最後の頁 08LT02 ~ 08LT02
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1361-6595/ac12bf	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tanaka Hiromasa, Hosoi Yugo, Ishikawa Kenji, Yoshitake Jun, Shibata Takahiro, Uchida Koji, Hashizume Hiroshi, Mizuno Masaaki, Okazaki Yasumasa, Toyokuni Shinya, Nakamura Kae, Kajiyama Hiroaki, Kikkawa Fumitaka, Hori Masaru	4. 巻 11
2. 論文標題 Low temperature plasma irradiation products of sodium lactate solution that induce cell death on U251SP glioblastoma cells were identified	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 1 ~ 10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-021-98020-w	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shimizu Naohiro, Borude Ranjit R., Tanaka Reiko, Ishikawa Kenji, Oda Osamu, Hosoe Hiroki, Ino Satoshi, Inoue Yosuke, Hori Masaru	4. 巻 49
2. 論文標題 Novel Method of Rebound Tailing Pulse (RTP) for Water Dissociation	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 IEEE Transactions on Plasma Science	6. 最初と最後の頁 2893 ~ 2900
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1109/TPS.2021.3102639	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tanaka Hiromasa, Mizuno Masaaki, Ishikawa Kenji, Toyokuni Shinya, Kajiyama Hiroaki, Kikkawa Fumitaka, Hori Masaru	4. 巻 28
2. 論文標題 Cancer Treatments Using Low-Temperature Plasma	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Current Medicinal Chemistry	6. 最初と最後の頁 8549 ~ 8558
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2174/0929867328666210629121731	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mounir Laroussi, Sander Bekeschus, Michael Keidar, Annemie Bogaerts, Alexander Fridman, XinPei Lu, Kostya (Ken)Ostrikov, Masaru Hori, Hiromasa Tanaka, DaWei Liu, Dayun Yan, and Maksudbek Yusupov	4. 巻 1
2. 論文標題 Low Temperature Plasma for Biology, Hygiene, and Medicine: Perspective and Roadmap	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 IEEE TRPMS	6. 最初と最後の頁 1~64
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tanaka Hiromasa, Matsumura Shogo, Ishikawa Kenji, Hashizume Hiroshi, Ito Masafumi, Nakamura Kae, Kajiyama Hiroaki, Kikkawa Fumitaka, Ito Mikako, Ohno Kinji, Okazaki Yasumasa, Toyokuni Shinya, Mizuno Masaaki, Hori Masaru	4. 巻 61
2. 論文標題 Enhancement of ethanol production and cell growth in budding yeast by direct irradiation of low-temperature plasma	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics	6. 最初と最後の頁 SA1007~SA1007
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.35848/1347-4065/ac2037	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kumagai Shinya, Nishigori Chikako, Takeuchi Tetsuya, Bruggeman Peter, Takashima Keisuke, Takahashi Hideki, Kaneko Toshiro, Choi Eun Ha, Nakazato Kazuo, Kambara Makoto, Ishikawa Kenji	4. 巻 61
2. 論文標題 Towards prevention and prediction of infectious diseases with virus sterilization using ultraviolet light and low-temperature plasma and bio-sensing devices for health and hygiene care	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics	6. 最初と最後の頁 SA0808~SA0808
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.35848/1347-4065/ac1c3d	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kaneko Toshiro, Kato Hiromitsu, Yamada Hideaki, Yamamoto Muneaki, Yoshida Tomoko, Attri Pankaj, Koga Kazunori, Murakami Tomoyuki, Kuchitsu Kazuyuki, Ando Sugihiko, Nishikawa Yasuhiro, Tomita Kentaro, Ono Ryo, Ito Tsuyohito, Ito Atsushi M., Eriguchi Koji, Nozaki Tomohiro, Tsutsumi Takayoshi, Ishikawa Kenji	4. 巻 61
2. 論文標題 Functional nitrogen science based on plasma processing: quantum devices, photocatalysts and activation of plant defense and immune systems	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics	6. 最初と最後の頁 SA0805~SA0805
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.35848/1347-4065/ac25dc	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ishikawa Kenji	4. 巻 61
2. 論文標題 Perspectives on functional nitrogen science and plasma-based in situ functionalization	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics	6. 最初と最後の頁 SA0802 ~ SA0802
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.35848/1347-4065/ac3558	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ito Shou, Sakai Kiyota, Gamaleev Vladislav, Ito Masafumi, Hori Masaru, Kato Masashi, Shimizu Motoyuki	4. 巻 13
2. 論文標題 Oxygen radical based on non-thermal atmospheric pressure plasma alleviates lignin-derived phenolic toxicity in yeast	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Biotechnology for Biofuels	6. 最初と最後の頁 1-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13068-020-1655-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yoshikawa Nobuhisa, Liu Wenting, Nakamura Kae, Yoshida Kosuke, Ikeda Yoshiki, Tanaka Hiromasa, Mizuno Masaaki, Toyokuni Shinya, Hori Masaru, Kikkawa Fumitaka, Kajiyama Hiroaki	4. 巻 10
2. 論文標題 Plasma-activated medium promotes autophagic cell death along with alteration of the mTOR pathway	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 1-8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-58667-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Gamaleev Vladislav, Tsutsumi Takayoshi, Hiramatsu Mineo, Ito Masafumi, Hori Masaru	4. 巻 8
2. 論文標題 Generation and Diagnostics of Ambient Air Glow Discharge in Centimeter-Order Gaps	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 IEEE Access	6. 最初と最後の頁 72607 ~ 72619
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1109/ACCESS.2020.2988091	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Gamaleev Vladislav, Britun Nikolay, Hori Masaru	4. 巻 8
2. 論文標題 Control and Stabilization of Centimeter Scale Glow Discharge in Ambient Air Using Pulse-Width Modulation	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 IEEE Access	6. 最初と最後の頁 201486 ~ 201497
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1109/ACCESS.2020.3035534	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ishikawa Kenji, Hosoi Yugo, Tanaka Hiromasa, Jiang Li, Toyokuni Shinya, Nakamura Kae, Kajiyama Hiroaki, Kikkawa Fumitaka, Mizuno Masaaki, Hori Masaru	4. 巻 688
2. 論文標題 Non-thermal plasma activated lactate solution kills U251SP glioblastoma cells in an innate reductive manner with altered metabolism	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Archives of Biochemistry and Biophysics	6. 最初と最後の頁 108414 ~ 108414
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.abb.2020.108414	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kurokawa Yukihiko, Takeda Keigo, Ishikawa Kenji, Tanaka Hiromasa, Hori Masaru	4. 巻 13
2. 論文標題 Laser-induced-plasma-activated medium enables killing of HeLa cells	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Applied Physics Express	6. 最初と最後の頁 106001 ~ 106001
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.35848/1882-0786/abb68c	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakamura Kae, Yoshikawa Nobuhisa, Yoshihara Masato, Ikeda Yoshiki, Higashida Akihiro, Niwa Akihiro, Jindo Takahiro, Tanaka Hiromasa, Ishikawa Kenji, Mizuno Masaaki, Toyokuni Shinya, Hori Masaru, Kikkawa Fumitaka, Kajiyama Hiroaki	4. 巻 17
2. 論文標題 Adjusted multiple gases in the plasma flow induce differential antitumor potentials of plasma activated solutions	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Plasma Processes and Polymers	6. 最初と最後の頁 1900259 ~ 1900259
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/ppap.201900259	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tanaka Yuta, Oh Jun Seok, Hashizume Hiroshi, Ohta Takayuki, Kato Masashi, Hori Masaru, Ito Masafumi	4. 巻 17
2. 論文標題 Atomic oxygen radical induced intracellular oxidization of mould spore cells	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Plasma Processes and Polymers	6. 最初と最後の頁 2000001 ~ 2000001
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/ppap.202000001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Favia Pietro, Sardella Eloisa, Tanaka Hiromasa	4. 巻 17
2. 論文標題 Special issue: Advanced applications of plasmas in Life Sciences 2020	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Plasma Processes and Polymers	6. 最初と最後の頁 2070028 ~ 2070028
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/ppap.202070028	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Attri Pankaj, Ishikawa Kenji, Okumura Takamasa, Koga Kazunori, Shiratani Masaharu	4. 巻 8
2. 論文標題 Plasma Agriculture from Laboratory to Farm: A Review	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Processes	6. 最初と最後の頁 1002 ~ 1002
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/pr8081002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Gamaleev Vladislav, Iwata Naoyuki, Ito Ginji, Hori Masaru, Hiramatsu Mineo, Ito Masafumi	4. 巻 10
2. 論文標題 Scalable Treatment of Flowing Organic Liquids Using Ambient-Air Glow Discharge for Agricultural Applications	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Applied Sciences	6. 最初と最後の頁 801 ~ 801
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/app10030801	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ito Masafumi, Hashizume Hiroshi, Oh Jun-Seok, Ishikawa Kenji, Ohta Takayuki, Hori Masaru	4. 巻 60
2. 論文標題 Inactivation mechanism of fungal spores through oxygen radicals in atmospheric-pressure plasma	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics	6. 最初と最後の頁 010503 ~ 010503
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.35848/1347-4065/abcbd1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yoshimura Shinji, Otsubo Yoko, Yamashita Akira, Ishikawa Kenji	4. 巻 60
2. 論文標題 Insights into normothermic treatment with direct irradiation of atmospheric pressure plasma for biological applications	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics	6. 最初と最後の頁 010502 ~ 010502
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.35848/1347-4065/abcbd2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hashizume Hiroshi, Kitano Hidemi, Mizuno Hiroko, Abe Akiko, Yuasa Genki, Tohno Satoe, Tanaka Hiromasa, Ishikawa Kenji, Matsumoto Shogo, Sakakibara Hitoshi, Nikawa Susumu, Maeshima Masayoshi, Mizuno Masaaki, Hori Masaru	4. 巻 18
2. 論文標題 Inside Front Cover: Plasma Process. Polym. 1/2021	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Plasma Processes and Polymers	6. 最初と最後の頁 2170002 ~ 2170002
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/ppap.202170002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hashizume Hiroshi, Kitano Hidemi, Mizuno Hiroko, Abe Akiko, Yuasa Genki, Tohno Satoe, Tanaka Hiromasa, Ishikawa Kenji, Matsumoto Shogo, Sakakibara Hitoshi, Nikawa Susumu, Maeshima Masayoshi, Mizuno Masaaki, Hori Masaru	4. 巻 18
2. 論文標題 Improvement of yield and grain quality by periodic cold plasma treatment with rice plants in a paddy field	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Plasma Processes and Polymers	6. 最初と最後の頁 2000181 ~ 2000181
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/ppap.202000181	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Attri Pankaj, Ishikawa Kenji, Okumura Takamasa, Koga Kazunori, Shiratani Masaharu, Mildaziene Vida	4. 巻 11
2. 論文標題 Impact of seed color and storage time on the radish seed germination and sprout growth in plasma agriculture	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 1-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-021-81175-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yokoyama Naoaki, Sivakumar Thillaiampalam, Ikehara Sanae, Akimoto Yoshihiro, Yamaguchi Takashi, Wakai Ken, Ishikawa Kenji, Hori Masaru, Shimizu Tetsuji, Sakakita Hajime, Ikehara Yuzuru	4. 巻 60
2. 論文標題 Growth inhibition effect on Trypanosoma brucei gambiense by the oxidative stress supplied from low-temperature plasma at atmospheric pressure	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics	6. 最初と最後の頁 020601 ~ 020601
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.35848/1347-4065/abd464	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakamura Kae, Yoshikawa Nobuhisa, Mizuno Yuko, Ito Miwa, Tanaka Hiromasa, Mizuno Masaaki, Toyokuni Shinya, Hori Masaru, Kikkawa Fumitaka, Kajiyama Hiroaki	4. 巻 13
2. 論文標題 Preclinical Verification of the Efficacy and Safety of Aqueous Plasma for Ovarian Cancer Therapy	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cancers	6. 最初と最後の頁 1141 ~ 1141
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/cancers13051141	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Okazaki Yasumasa, Ishidzu Yuuri, Ito Fumiya, Tanaka Hiromasa, Hori Masaru, Toyokuni Shinya	4. 巻 700
2. 論文標題 L-Dehydroascorbate efficiently degrades non-thermal plasma-induced hydrogen peroxide	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Archives of Biochemistry and Biophysics	6. 最初と最後の頁 108762 ~ 108762
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.abb.2021.108762	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hori Yuki, Iwata Naoyuki, Gamaleev Vladislav, Oh Jun Seok, Murata Tomiyasu, Hori Masaru, Ito Masafumi	4. 巻 18
2. 論文標題 Identification of key neutral species in atmospheric pressure plasma for promoting proliferation of fibroblast cells	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Plasma Processes and Polymers	6. 最初と最後の頁 2000225 ~ 2000225
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/ppap.202000225	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Eto Ko, Ishinada Chiaki, Suemoto Takuya, Hyakutake Keiichiro, Tanaka Hiromasa, Hori Masaru	4. 巻 338
2. 論文標題 A novel and distinctive mode of cell death revealed by using non-thermal atmospheric pressure plasma: The involvements of reactive oxygen species and the translation inhibitor Pdcd4	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Chemico-Biological Interactions	6. 最初と最後の頁 109403 ~ 109403
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cbi.2021.109403	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Toyokuni Shinya, Yanatori Izumi, Kong Yingyi, Zheng Hao, Motooka Yashiro, Jiang Li	4. 巻 111
2. 論文標題 Ferroptosis at the crossroads of infection, aging and cancer	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cancer Science	6. 最初と最後の頁 2665 ~ 2671
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.14496	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Naito Yuji, Toyokuni Shinya, Uchida Koji	4. 巻 1
2. 論文標題 The New Era for Redox Research	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Free Radical Research	6. 最初と最後の頁 1 ~ 7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/10715762.2020.1774177	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Toyokuni Shinya, Kong Yingyi, Cheng Zhen, Sato Kotaro, Hayashi Shotaro, Ito Fumiya, Jiang Li, Yanatori Izumi, Okazaki Yasumasa, Akatsuka Shinya	4. 巻 12
2. 論文標題 Carcinogenesis as Side Effects of Iron and Oxygen Utilization: From the Unveiled Truth toward Ultimate Bioengineering	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cancers	6. 最初と最後の頁 3320 ~ 3320
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/cancers12113320	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Oteiza Patricia I., Toyokuni Shinya	4. 巻 696
2. 論文標題 The new era for research on polyphenols and food factors	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Archives of Biochemistry and Biophysics	6. 最初と最後の頁 108678 ~ 108678
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.abb.2020.108678	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Attri Pankaj, Koga Kazunori, Okumura Takamasa, Shiratani Masaharu	4. 巻 60
2. 論文標題 Impact of atmospheric pressure plasma treated seeds on germination, morphology, gene expression and biochemical responses	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics	6. 最初と最後の頁 040502 ~ 040502
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.35848/1347-4065/abe47d	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Suriyasak Chetphilin, Hatanaka Kota, Tanaka Hayate, Okumura Takamasa, Yamashita Daisuke, Attri Pankaj, Koga Kazunori, Shiratani Masaharu, Hamaoka Norimitsu, Ishibashi Yushi	4. 巻 1
2. 論文標題 Alterations of DNA Methylation Caused by Cold Plasma Treatment Restore Delayed Germination of Heat-Stressed Rice (<i>Oryza sativa</i> L.) Seeds	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 ACS Agricultural Science & Technology	6. 最初と最後の頁 5 ~ 10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acsagscitech.0c00070	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Attri Pankaj, Koga Kazunori, Shiratani Masaharu	4. 巻 14
2. 論文標題 Possible impact of plasma oxidation on the structure of the C-terminal domain of SARS-CoV-2 spike protein: a computational study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Applied Physics Express	6. 最初と最後の頁 027002 ~ 027002
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.35848/1882-0786/abd717	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tamoin Inga, Gelvonauskien Dalia, Haimi Perttu, Milda?ien? Vida, Koga Kazunori, Shiratani Masaharu, Baniulis Danas	4. 巻 11
2. 論文標題 Cold Plasma Treatment of Sunflower Seeds Modulates Plant-Associated Microbiome and Stimulates Root and Lateral Organ Growth	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Frontiers in Plant Science	6. 最初と最後の頁 1-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpls.2020.568924	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Tamoin Inga, Gelvonauskien Dalia, Ragauskait Lauryna, Koga Kazunori, Shiratani Masaharu, Baniulis Danas	4. 巻 13
2. 論文標題 Cold plasma treatment of Arabidopsis thaliana (L.) seeds modulates plant-associated microbiome composition	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Applied Physics Express	6. 最初と最後の頁 076001 ~ 076001
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.35848/1882-0786/ab9712	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Attri Pankaj, Razzokov Jamoliddin, Yusupov Maksudbek, Koga Kazunori, Shiratani Masaharu, Bogaerts Annemie	4. 巻 148
2. 論文標題 Influence of osmolytes and ionic liquids on the Bacteriorhodopsin structure in the absence and presence of oxidative stress: A combined experimental and computational study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Journal of Biological Macromolecules	6. 最初と最後の頁 657 ~ 665
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijbiomac.2020.01.179	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Koga Kazunori, Attri Pankaj, Kamataki Kunihiro, Itagaki Naho, Shiratani Masaharu, Mildaziene Vida	4. 巻 59
2. 論文標題 Impact of radish sprouts seeds coat color on the electron paramagnetic resonance signals after plasma treatment	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics	6. 最初と最後の頁 SHHF01 ~ SHHF01
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.35848/1347-4065/ab7698	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Attri Pankaj, Teruki Anan, Arita Ryo, Okumura Takamasa, Tanaka Hayate, Yamashita Daisuke, Matsuo Kayo, Itagaki Naho, Kamataki Kunihiro, Koga Kazunori, Shiratani Masaharu, Kuchitsu Kazuyuki, Ishibashi Yushi	4. 巻 10
2. 論文標題 Plasma Treatment Effect on the Paramagnetic Species of Barley Seed Radical's Intensity: An EPR study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Plasma Medicine	6. 最初と最後の頁 159~168
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1615/PlasmaMed.2020036353	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fukumizu Hiroyuki, SEKINE Makoto, HORI Masaru, McIntyre Paul C.	4. 巻 59
2. 論文標題 Initial growth analysis of ALD Al ₂ O ₃ film on hydrogen-terminated Si substrate via in situ XPS	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics	6. 最初と最後の頁 16504
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7567/1347-4065/ab6273	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fukunaga Yusuke, Longo Roberto C., Ventzek Peter L. G., Lane Barton, Ranjan Alok, Hwang Gyeong S., Hartmann Gregory, Tsutsumi Takayoshi, Ishikawa Kenji, Kondo Hiroki, Sekine Makoto, Hori Masaru	4. 巻 127
2. 論文標題 Interaction of oxygen with polystyrene and polyethylene polymer films: A mechanistic study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Applied Physics	6. 最初と最後の頁 023303 ~ 023303
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1063/1.5127863	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Gamaleev Vladislav, Iwata Naoyuki, Ito Ginji, Hori Masaru, Hiramatsu Mineo, Ito Masafumi	4. 巻 10
2. 論文標題 Scalable Treatment of Flowing Organic Liquids Using Ambient-Air Glow Discharge for Agricultural Applications	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Applied Sciences	6. 最初と最後の頁 801 ~ 801
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/app10030801	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yoshikawa Nobuhisa, Liu Wenting, Nakamura Kae, Yoshida Kosuke, Ikeda Yoshiki, Tanaka Hiromasa, Mizuno Masaaki, Toyokuni Shinya, Hori Masaru, Kikkawa Fumitaka, Kajiyama Hiroaki	4. 巻 10
2. 論文標題 Plasma-activated medium promotes autophagic cell death along with alteration of the mTOR pathway	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 1614
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-58667-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Itagaki Naho, Nakamura Yuta, Narishige Ryota, Takeda Keigo, Kamataki Kunihiro, Koga Kazunori, Hori Masaru, Shiratani Masaharu	4. 巻 10
2. 論文標題 Growth of single crystalline films on lattice-mismatched substrates through 3D to 2D mode transition	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 4669
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-61596-w	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Iwase Taku, Koga Kazunori, Ishikawa Kenji, et al.,	4. 巻 58
2. 論文標題 Progress and perspectives in dry processes for leading-edge manufacturing of devices: toward intelligent processes and virtual product development	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics	6. 最初と最後の頁 SE0804 ~ SE0804
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7567/1347-4065/ab163b	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Iwase Taku, Koga Kazunori, Ishikawa Kenji, et al.,	4. 巻 58
2. 論文標題 Progress and perspectives in dry processes for nanoscale feature fabrication: fine pattern transfer and high-aspect-ratio feature formation	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics	6. 最初と最後の頁 SE0802 ~ SE0802
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7567/1347-4065/ab1638	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Iwase Taku, Koga Kazunori, Ishikawa Kenji, et al.,	4. 巻 58
2. 論文標題 Progress and perspectives in dry processes for nanoscale feature fabrication: fine pattern transfer and high-aspect-ratio feature formation	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics	6. 最初と最後の頁 SE0802 ~ SE0802
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7567/1347-4065/ab1638	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Iwase Taku, Koga Kazunori, Ishikawa Kenji, et al.,	4. 巻 58
2. 論文標題 Progress and perspectives in dry processes for emerging multidisciplinary applications: how can we improve our use of dry processes?	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics	6. 最初と最後の頁 SE0803 ~ SE0803
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7567/1347-4065/ab163a	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakane Kazuya, Vervuurt Ren H. J., Tsutsumi Takayoshi, Kobayashi Nobuyoshi, Hori Masaru	4. 巻 11
2. 論文標題 In Situ Monitoring of Surface Reactions during Atomic Layer Etching of Silicon Nitride Using Hydrogen Plasma and Fluorine Radicals	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ACS Applied Materials & Interfaces	6. 最初と最後の頁 37263 ~ 37269
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acsami.9b11489	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sato Yoichiro, Imajyo Nobuhiko, Ishikawa Kenji, Tummala Rao, Hori Masaru	4. 巻 30
2. 論文標題 Laser-drilling formation of through-glass-via (TGV) on polymer-laminated glass	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Materials Science: Materials in Electronics	6. 最初と最後の頁 10183 ~ 10190
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10854-019-01354-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamaoka Sotaro, Kondo Hiroki, Hashizume Hiroshi, Ishikawa Kenji, Tanaka Hiromasa, Hori Masaru	4. 巻 12
2. 論文標題 Plasma-activated solution alters the morphological dynamics of supported lipid bilayers observed by high-speed atomic force microscopy	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Applied Physics Express	6. 最初と最後の頁 066001 ~ 066001
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7567/1882-0786/ab1a58	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hayashi Toshio, Ishikawa Kenji, Sekine Makoto, Hori Masaru	4. 巻 58
2. 論文標題 Electronic properties and primarily dissociation channels of fluoroethane compounds	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics	6. 最初と最後の頁 SEEF01 ~ SEEF01
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7567/1347-4065/ab09ca	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Iwata Naoyuki, Gamaleev Vladislav, Hashizume Hiroshi, Oh Jun Seok, Ohta Takayuki, Ishikawa Kenji, Hori Masaru, Ito Masafumi	4. 巻 16
2. 論文標題 Simultaneous achievement of antimicrobial property and plant growth promotion using plasma activated benzoic compound solution	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Plasma Processes and Polymers	6. 最初と最後の頁 1900023 ~ 1900023
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/ppap.201900023	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Omura Mitsuhiro, Hashimoto Junichi, Adachi Takahiro, Kondo Yusuke, Ishikawa Masao, Abe Junko, Sakai Itsuko, Hayashi Hisataka, Sekine Makoto, Hori Masaru	4. 巻 58
2. 論文標題 Formation mechanism of sidewall striation in high-aspect-ratio hole etching	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics	6. 最初と最後の頁 SEEB02 ~ SEEB02
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7567/1347-4065/ab163c	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Okazaki Yasumasa, Tanaka Hiromasa, Hori Masaru, Toyokuni Shinya	4. 巻 669
2. 論文標題 -Dehydroascorbic acid recycled by thiols efficiently scavenges non-thermal plasma-induced hydroxyl radicals	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Archives of Biochemistry and Biophysics	6. 最初と最後の頁 87 ~ 95
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.abb.2019.05.019	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sato Kotaro, Shi Lei, Ito Fumiya, Ohara Yuuki, Motooka Yashiro, Tanaka Hiromasa, Mizuno Masaaki, Hori Masaru, Hirayama Tasuku, Hibi Hideharu, Toyokuni Shinya	4. 巻 65
2. 論文標題 Non-thermal plasma specifically kills oral squamous cell carcinoma cells in a catalytic Fe(II)-dependent manner	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Clinical Biochemistry and Nutrition	6. 最初と最後の頁 8 ~ 15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3164/jcbn.18-91	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ichikawa Tomonori, Kondo Hiroki, Ishikawa Kenji, Tsutsumi Takayoshi, Tanaka Hiromasa, Sekine Makoto, Hori Masaru	4. 巻 2
2. 論文標題 Gene Expression of Osteoblast-like Cells on Carbon-Nanowall as Scaffolds during Incubation with Electrical Stimulation	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ACS Applied Bio Materials	6. 最初と最後の頁 2698 ~ 2702
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acsabm.9b00178	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Miyajima Hideshi、Ishikawa Kenji、Sekine Makoto、Hori Masaru	4. 巻 16
2. 論文標題 Review of methods for the mitigation of plasma induced damage to low dielectric constant interlayer dielectrics used for semiconductor logic device interconnects	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Plasma Processes and Polymers	6. 最初と最後の頁 1900039 ~ 1900039
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/ppap.201900039	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ohta Takayuki、Ito Hironori、Ishikawa Kenji、Kondo Hiroki、Hiramatsu Mineo、Hori Masaru	4. 巻 5
2. 論文標題 Atmospheric Pressure Plasma-Treated Carbon Nanowalls' Surface-Assisted Laser Desorption/Ionization Time-of-Flight Mass Spectrometry (CNW-SALDI-MS)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 C	6. 最初と最後の頁 40 ~ 40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/c5030040	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shinoda Kazunori、Miyoshi Nobuya、Kobayashi Hiroyuki、Izawa Masaru、Ishikawa Kenji、Hori Masaru	4. 巻 52
2. 論文標題 Rapid thermal-cyclic atomic-layer etching of titanium nitride in CHF3/O2 downstream plasma	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Physics D: Applied Physics	6. 最初と最後の頁 475106 ~ 475106
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1361-6463/ab3cf3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shinoda Kazunori、Miyoshi Nobuya、Kobayashi Hiroyuki、Izawa Masaru、Saeki Tomonori、Ishikawa Kenji、Hori Masaru	4. 巻 37
2. 論文標題 Self-limiting reactions of ammonium salt in CHF3/O2 downstream plasma for thermal-cyclic atomic layer etching of silicon nitride	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Vacuum Science & Technology A	6. 最初と最後の頁 051002 ~ 051002
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1116/1.5111663	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Iwata Naoyuki, Gamaleev Vladislav, Oh Jun Seok, Ohta Takayuki, Hori Masaru, Ito Masafumi	4. 巻 16
2. 論文標題 Investigation on the long term bactericidal effect and chemical composition of radical activated water	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Plasma Processes and Polymers	6. 最初と最後の頁 1900055 ~ 1900055
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/ppap.201900055	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tanaka Hiromasa, Mizuno Masaaki, Katsumata Yuko, Ishikawa Kenji, Kondo Hiroki, Hashizume Hiroshi, Okazaki Yasumasa, Toyokuni Shinya, Nakamura Kae, Yoshikawa Nobuhisa, Kajiyama Hiroaki, Kikkawa Fumitaka, Hori Masaru	4. 巻 9
2. 論文標題 Oxidative stress-dependent and -independent death of glioblastoma cells induced by non-thermal plasma-exposed solutions	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 13657
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-50136-w	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Gamaleev Vladislav, Iwata Naoyuki, Hori Masaru, Hiramatsu Mineo, Ito Masafumi	4. 巻 9
2. 論文標題 Direct Treatment of Liquids Using Low-Current Arc in Ambient Air for Biomedical Applications	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Applied Sciences	6. 最初と最後の頁 3505 ~ 3505
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/app9173505	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakane Kazuya, Vervuurt Ren H. J., Tsutsumi Takayoshi, Kobayashi Nobuyoshi, Hori Masaru	4. 巻 11
2. 論文標題 In Situ Monitoring of Surface Reactions during Atomic Layer Etching of Silicon Nitride Using Hydrogen Plasma and Fluorine Radicals	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ACS Applied Materials & Interfaces	6. 最初と最後の頁 37263 ~ 37269
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acsmi.9b11489	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Saito Shinichi, Koya Yoshihiro, Kajiyama Hiroaki, Yamashita Mamoru, Kikkawa Fumitaka, Nawa Akihiro	4. 巻 N/A
2. 論文標題 A folate appended cyclodextrin carrier targets ovarian cancer cells expressing the proton coupled folate transporter	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cancer Science	6. 最初と最後の頁 N/A
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.14379	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yasui H, Kajiyama H, Tamauchi S, Suzuki S, Peng Y, Yoshikawa N, Sugiyama M, Nakamura K, Kikkawa F.	4. 巻 37
2. 論文標題 CCL2 secreted from cancer-associated mesothelial cells promotes peritoneal metastasis of ovarian cancer cells through the P38-MAPK pathway.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Clin Exp Metastasis.	6. 最初と最後の頁 141-158
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10585-019-09993-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kajiyama Hiroaki, Suzuki Shiro, Yoshikawa Nobuhisa, Tamauchi Satoshi, Shibata Kiyosumi, Kikkawa Fumitaka	4. 巻 31
2. 論文標題 The impact of systematic retroperitoneal lymphadenectomy on long-term oncologic outcome of women with advanced ovarian clear-cell carcinoma	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Gynecologic Oncology	6. 最初と最後の頁 N/A
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3802/jgo.2020.31.e47	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ganieva Umida, Nakamura Tomoko, Osuka Satoko, Bayasula, Nakanishi Natsuki, Kasahara Yukiyo, Takasaki Nobuyoshi, Muraoka Ayako, Hayashi Shotaro, Nagai Takashi, Murase Tomohiko, Goto Maki, Iwase Akira, Kikkawa Fumitaka	4. 巻 190
2. 論文標題 Involvement of Transcription Factor 21 in the Pathogenesis of Fibrosis in Endometriosis	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 The American Journal of Pathology	6. 最初と最後の頁 145 ~ 157
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ajpath.2019.09.008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 YOSHIDA KOSUKE, KAJIYAMA HIROAKI, INAMI ERI, TAMAUCHI SATOSHI, IKEDA YOSHIKI, YOSHIKAWA NOBUHISA, NISHINO KIMIHIRO, UTSUMI FUMI, NIIMI KAORU, SUZUKI SHIRO, SHIBATA KIYOSUMI, NAWA AKIHIRO, KIKKAWA FUMITAKA	4. 巻 34
2. 論文標題 Clinical Significance of Ubiquitin-associated Protein 2-like in Patients With Uterine Cervical Cancer	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 In Vivo	6. 最初と最後の頁 109 ~ 116
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.21873/invivo.11751	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yoshida Kosuke, Yokoi Akira, Kagawa Takumi, Oda Shingo, Hattori Satomi, Tamauchi Satoshi, Ikeda Yoshiki, Yoshikawa Nobuhisa, Nishino Kimihiro, Utsumi Fumi, Niimi Kaoru, Suzuki Shiro, Shibata Kiyosumi, Kajiyama Hiroaki, Yokoi Tsuyoshi, Kikkawa Fumitaka	4. 巻 N/A
2. 論文標題 Unique miRNA profiling of squamous cell carcinoma arising from ovarian mature teratoma: comprehensive miRNA sequence analysis of its molecular background	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Carcinogenesis	6. 最初と最後の頁 N/A
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/carcin/bgz135	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kajiyama Hiroaki, Suzuki Shiro, Yoshikawa Nobuhisa, Kawai Michiyasu, Mizuno Kimio, Yamamuro Osamu, Nagasaka Tetsuro, Shibata Kiyosumi, Kikkawa Fumitaka	4. 巻 19
2. 論文標題 Fertility-sparing surgery and oncologic outcome among patients with early-stage ovarian cancer -propensity score- matched analysis-	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 BMC Cancer	6. 最初と最後の頁 N/A
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12885-019-6432-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kajiyama Hiroaki, Yoshihara Masato, Tamauchi Satoshi, Yoshikawa Nobuhisa, Niimi Kaoru, Suzuki Shiro, Shibata Kiyosumi, Kikkawa Fumitaka	4. 巻 N/A
2. 論文標題 Is standard radical surgery necessary for elderly patients with early-stage epithelial ovarian carcinoma? -Propensity score matched analysis-	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Clinical Oncology	6. 最初と最後の頁 N/A
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jjco/hyz194	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shimbo Akiko, Kajiyama Hiroaki, Tamauchi Satoshi, Yoshikawa Nobuhisa, Ikeda Yoshiki, Nishino Kimihiro, Suzuki Shiro, Niimi Kaoru, Sakata Jun, Kikkawa Fumitaka	4. 巻 N/A
2. 論文標題 Expression of connective tissue growth factor as a prognostic indicator and its possible involvement in the aggressive properties of epithelial ovarian carcinoma	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Oncology Reports	6. 最初と最後の頁 N/A
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3892/or.2019.7352	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Moroi Hiroaki, Kimura Kouji, Ido Ayaka, Banno Hirotsugu, Jin Wanchun, Wachino Jun-ichi, Yamada Keiko, Kikkawa Fumitaka, Park Yeon-Joon, Arakawa Yoshichika	4. 巻 72
2. 論文標題 Erythromycin-Susceptible but Clindamycin-Resistant Phenotype of Clinical PCR-Positive Group B Streptococci Isolates with IS1216E	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Infectious Diseases	6. 最初と最後の頁 420 ~ 422
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7883/yoken.JJID.2019.015	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kajiyama H, Suzuki S, Yoshikawa N, Niimi K, Kawai M, Shibata K, Kikkawa F.	4. 巻 300
2. 論文標題 Long-term oncologic outcome and its prognostic indicators in reproductive-age women with ovarian clear-cell carcinoma.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Arch Gynecol Obstet	6. 最初と最後の頁 717-724
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00404-019-05203-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sekiya Atsushi, Suzuki Shiro, Tanaka Ayako, Hattori Satomi, Shimizu Yusuke, Yoshikawa Nobuhisa, Koya Yoshihiro, Kajiyama Hiroaki, Kikkawa Fumitaka	4. 巻 N/A
2. 論文標題 Interleukin33 expression in ovarian cancer and its possible suppression of peritoneal carcinomatosis	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Oncology	6. 最初と最後の頁 N/A
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3892/ijo.2019.4845	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kajiyama H, Suzuki S, Utsumi F, Yoshikawa N, Nishino K, Ikeda Y, Niimi K, Yamamoto E, Kawai M, Shibata K, Nagasaka T, Kikkawa F.	4. 巻 24
2. 論文標題 Comparison of long-term oncologic outcomes between metastatic ovarian carcinoma originating from gastrointestinal organs and advanced mucinous ovarian carcinoma.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Int J Clin Oncol	6. 最初と最後の頁 950-956
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10147-019-01438-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kajiyama H, Suzuki S, Niimi K, Tamauchi S, Kawai M, Nagasaka T, Shibata K, Kikkawa F.	4. 巻 24
2. 論文標題 Oncologic and reproductive outcomes of cystectomy as a fertility-sparing treatment for early-stage epithelial ovarian cancer.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Int J Clin Oncol	6. 最初と最後の頁 857-862
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10147-019-01416-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nguyen Xuan Phuoc, Nakamura Tomoko, Osuka Satoko, Bayasula Bayasula, Nakanishi Natsuki, Kasahara Yukiyo, Muraoka Ayako, Hayashi Shotaro, Nagai Takashi, Murase Tomohiko, Goto Maki, lwase Akira, Kikkawa Fumitaka	4. 巻 158
2. 論文標題 Effect of the neuropeptide phoenixin and its receptor GPR173 during folliculogenesis	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Reproduction	6. 最初と最後の頁 25 ~ 34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1530/REP-19-0025	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kajiyama Hiroaki, Yoshihara Masato, Tamauchi Satoshi, Yoshikawa Nobuhisa, Suzuki Shiro, Kikkawa Fumitaka	4. 巻 4
2. 論文標題 Fertility-Sparing surgery for young women with ovarian endometrioid carcinoma: a multicenteric comparative study using inverse probability of treatment weighting	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 European Journal of Obstetrics & Gynecology and Reproductive Biology: X	6. 最初と最後の頁 100071 ~ 100071
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.eurox.2019.100071	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kajiyama Hiroaki, Suzuki Shiro, Yoshikawa Nobuhisa, Kawai Michiyasu, Shibata Kiyosumi, Nagasaka Tetsuro, Kikkawa Fumitaka	4. 巻 29
2. 論文標題 Oncologic outcomes after secondary surgery in recurrent clear-cell carcinoma of the ovary	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Gynecologic Cancer	6. 最初と最後の頁 910 ~ 915
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/ijgc-2018-000142	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shimizu Ken, Nakamura Tomoko, Bayasula, Nakanishi Natsuki, Kasahara Yukiyo, Nagai Takashi, Murase Tomohiko, Osuka Satoko, Goto Maki, Iwase Akira, Kikkawa Fumitaka	4. 巻 36
2. 論文標題 Molecular mechanism of FSHR expression induced by BMP15 in human granulosa cells	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Assisted Reproduction and Genetics	6. 最初と最後の頁 1185 ~ 1194
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10815-019-01469-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kajiyama H, Suzuki S, Utsumi F, Nishino K, Niimi K, Mizuno M, Yoshikawa N, Kawai M, Oguchi H, Mizuno K, Yamamuro O, Shibata K, Nagasaka T,	4. 巻 81
2. 論文標題 Epidemiological overview of metastatic ovarian carcinoma: long-term experience of TOTSG database.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nagoya J Med Sci	6. 最初と最後の頁 193-198
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18999/nagjms.81.2.193	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Moroi Hiroaki, Kimura Kouji, Kotani Tomomi, Tsuda Hiroyuki, Banno Hirotsugu, Jin Wanchun, Wachino Jun-ichi, Yamada Keiko, Mitsui Takashi, Yamashita Mamoru, Kikkawa Fumitaka, Arakawa Yoshichika	4. 巻 8
2. 論文標題 Isolation of group B Streptococcus with reduced β -lactam susceptibility from pregnant women	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Emerging Microbes & Infections	6. 最初と最後の頁 2 ~ 7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/22221751.2018.1557987	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yanatori Izumi, Richardson Des R., Toyokuni Shinya, Kishi Fumio	4. 巻 672
2. 論文標題 How iron is handled in the course of heme catabolism: Integration of heme oxygenase with intracellular iron transport mechanisms mediated by poly (rC)-binding protein-2	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Archives of Biochemistry and Biophysics	6. 最初と最後の頁 108071 ~ 108071
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.abb.2019.108071	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Li Zan, Jiang Li, Chew Shan Hwu, Hirayama Tasuku, Sekido Yoshitaka, Toyokuni Shinya	4. 巻 26
2. 論文標題 Carbonic anhydrase 9 confers resistance to ferroptosis/apoptosis in malignant mesothelioma under hypoxia	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Redox Biology	6. 最初と最後の頁 101297 ~ 101297
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.redox.2019.101297	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Okazaki Yasumasa, Misawa Nobuaki, Akatsuka Shinya, Kohyama Norihiko, Sekido Yoshitaka, Takahashi Takashi, Toyokuni Shinya	4. 巻 N/A
2. 論文標題 Frequent homozygous deletion of Cdkn2a/2b in tremolite induced malignant mesothelioma in rats	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cancer Science	6. 最初と最後の頁 N/A
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.14358	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Funahashi Satomi, Okazaki Yasumasa, Akatsuka Shinya, Takahashi Takashi, Sakumi Kunihiko, Nakabeppu Yusaku, Toyokuni Shinya	4. 巻 N/A
2. 論文標題 Mth1 deficiency provides longer survival upon intraperitoneal crocidolite injection in female mice	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Free Radical Research	6. 最初と最後の頁 1 ~ 231
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/10715762.2020.1743285	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Koike Taro, Tanaka Susumu, Hirahara Yukie, Oe Souichi, Kurokawa Kiyoshi, Maeda Mitsuyo, Suga Mitsuo, Kataoka Yosky, Yamada Hisao	4. 巻 527
2. 論文標題 Morphological characteristics of p75 neurotrophin receptor positive cells define a new type of glial cell in the rat dorsal root ganglia	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Comparative Neurology	6. 最初と最後の頁 2047 ~ 2060
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cne.24667	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ohtsuka Junpei, Fukumura Masayuki, Furuyama Wakako, Wang Shujie, Hara Kenichiro, Maeda Mitsuyo, Tsurudome Masato, Miyamoto Hiroko, Kaito Aika, Tsuda Nobuyuki, Kataoka Yosky, Mizoguchi Akira, Takada Ayato, Nosaka Tetsuya	4. 巻 9
2. 論文標題 A versatile platform technology for recombinant vaccines using non-propagative human parainfluenza virus type 2 vector	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 N/A
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-49579-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Maeda Mitsuyo, Seto Toshiyuki, Kadono Chiho, Morimoto Hideto, Kida Sachiho, Suga Mitsuo, Nakamura Motohiro, Kataoka Yosky, Hamazaki Takashi, Shintaku Haruo	4. 巻 20
2. 論文標題 Autophagy in the Central Nervous System and Effects of Chloroquine in Mucopolysaccharidosis Type II Mice	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Molecular Sciences	6. 最初と最後の頁 5829 ~ 5829
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms20235829	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kikuchi-Taura Akie, Okinaka Yuka, Takeuchi Yukiko, Ogawa Yuko, Maeda Mitsuyo, Kataoka Yosky, Yasui Teruhito, Kimura Takafumi, Gul Sheraz, Claussen Carsten, Boltze Johannes, Taguchi Akihiko	4. 巻 51
2. 論文標題 Bone Marrow Mononuclear Cells Activate Angiogenesis via Gap Junction-Mediated Cell-Cell Interaction	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Stroke	6. 最初と最後の頁 1279 ~ 1289
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1161/STROKEAHA.119.028072	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Koga Kazunori, Attri Pankaj, Kamataki Kunihiro, Itagaki Naho, Shiratani Masaharu, Mildaziene Vida	4. 巻 59
2. 論文標題 Impact of radish sprouts seeds coat color on the electron paramagnetic resonance signals after plasma treatment	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics	6. 最初と最後の頁 SHHF01 ~ SHHF01
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.35848/1347-4065/ab7698	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

[学会発表] 計295件(うち招待講演 111件/うち国際学会 128件)

1. 発表者名 Hiromasa Tanaka, Masaaki Mizuno, Kenji Ishikawa, Hiroshi Hashizume, Kae Nakamura, Hiroaki Kajiyama, Fumitaka Kikkawa, Yasumasa Okazaki, Shinya Toyokuni, Masaru Hori
2. 発表標題 Gene Expression Analysis of Plasma Activated Ringer 's Lactate Solution Treated Cells
3. 学会等名 MRS Spring Meetings & Exhibits (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Hiromasa Tanaka, Masaaki Mizuno, Kenji Ishikawa, Camelia Miron, Hiroaki Kajiyama, Shinya Toyokuni, Masaru Hori
2. 発表標題 Molecular mechanisms of cell death by plasma-activated solutions in glioblastoma cells
3. 学会等名 9th International Conference on Plasma Medicine (ICPM9) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Hiroaki Kajiyama, Kae Nakamura, Hiromasa Tanaka, Masaaki Mizuno, Kenji Ishikawa, Shinya Toyokuni, Masaru Hori
2. 発表標題 The aqueous plasma therapy for ovarian cancer ~Aiming for controlling disseminated peritoneal metastasis~
3. 学会等名 9th International Conference on Plasma Medicine (ICPM9) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Camelia Miron, Kenji Ishikawa, Hiroshi Hashizume, Hiromasa Tanaka, Hiroaki Kajiyama, Shinya Toyokuni, Masaaki Mizuno, Masaru Hori
2. 発表標題 Physicochemical Investigation of Plasma Activated Liquids Organically Engineered by Cold Atmospheric Pressure Plasma for Cancer Treatment
3. 学会等名 9th International Conference on Plasma Medicine (ICPM9) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Hiroshi Hashizume, Hidemi Kitano, Hiroko Mizuno, Akiko Abe, Kaoru Sanda, Genki Yuasa, Satoe Tohno, Hiromasa Tanaka, Kenji Ishikawa, Shogo Matsumoto, Hitoshi Sakakibara, Susumu Nikawa, Masayoshi Maeshima, Masaaki Mizuno, Masaru Hori
2. 発表標題 Effectiveness of Plasma Treatment for Various Rice Cultivation
3. 学会等名 9th International Conference on Plasma Medicine (ICPM9) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Kae Nakamura, Kazuya Sugiyama, Nobuhisa Yoshikawa, Masato Yoshihara, Tetsuya Matsukawa, Hiromasa Tanaka, Masaaki Mizuno, Shinya Toyokuni, Masaru Hori and Hiroaki Kajiyama
2. 発表標題 Immunostimulatory Effect of Plasma-Activated Solutions in the Intraperitoneal Environment of Ovarian Cancer
3. 学会等名 9th International Conference on Plasma Medicine (ICPM9) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Hiroki KONDO, Takayoshi TSUTSUMI, Kenji ISHIKAWA, Masaru HORI
2. 発表標題 Interfacial reaction of gas-liquid plasma in the synthesis of functional carbon nanomaterials
3. 学会等名 The 5th International Union of Materials Research Societies International Conference of Young Researchers on Advanced Materials (IUMRS-ICYRAM2022) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1 . 発表者名 Masaru Hori
2 . 発表標題 Development of ultrahigh density non-equilibrium atmospheric pressure plasma and its applications to materials and biotechnology
3 . 学会等名 15th Asia Pacific Physics Conference (APPC15) (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2022年

1 . 発表者名 Naohiro Shimizu, Osamu Oda, Ranjit R. Borude, Reiko Tanaka, Kenji Ishikawa, Hiroki Hosoe, Satoshi Ino, Yosuke Inoue, and Masaru Hori
2 . 発表標題 Novel Hydrogen Generation Study Applying Rebound Tailing Pulse and Wet Electrode Methods"
3 . 学会等名 11th International Conference on Reactive Plasmas/2022 Gaseous Electronics Conference (ICRP-11/GEC2022) (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2022年

1 . 発表者名 Takumi Hashimoto, Hiroki Kondo, Hiromasa Tanaka, Kenji Ishikawa, Takayoshi Tsutsumi, Makoto Sekine, Takao Yasui, Yoshinobu Baba, Mineo Hiramatsu, Masaru Hori
2 . 発表標題 Highly efficient exosome capture by carbon nanowalls template
3 . 学会等名 11th International Conference on Reactive Plasmas/2022 Gaseous Electronics Conference (ICRP-11/GEC2022) (国際学会)
4 . 発表年 2022年

1 . 発表者名 Hiromasa Tanaka, Masaaki Mizuno, Ayako Tanaka, Yuki Shibata, Kenji Ishikawa, Hiroki Kondo, Hiroshi Hashizume, Camelia Miron, Yasumasa Okazaki, Shinya Toyokuni, Kae Nakamura, Hiroaki Kajiyama, Fumitaka Kikkawa, Masaru Hori
2 . 発表標題 Comprehensive analysis of gene expression in PAL-treated glioblastoma cells
3 . 学会等名 11th International Conference on Reactive Plasmas/2022 Gaseous Electronics Conference (ICRP-11/GEC2022) (国際学会)
4 . 発表年 2022年

1. 発表者名	Hiroshi Hashizume, Hidemi Kitano, Hiroko Mizuno, Akiko Abe, Kaoru Sanda, Genki Yuasa, Satoe Tohno, Shih-Nan Hsiao, Hiromasa Tanaka, Kenji Ishikawa, Shogo Matsumoto, Hitoshi Sakakibara, Yoji Hirose, Masayoshi Maeshima, Masaaki Mizuno, Masaru Hori
2. 発表標題	Various approaches of cold plasma treatment to brewer's rice plant for improvement of grain quality
3. 学会等名	11th International Conference on Reactive Plasmas/2022 Gaseous Electronics Conference (ICRP-11/GEC2022) (国際学会)
4. 発表年	2022年

1. 発表者名	Kenji Ishikawa, Takashi Kondo, Hiromasa Tanaka, Masaru Hori, Shinya Toyokuni, Masaaki Mizuno
2. 発表標題	Biological effects of the combination with low temperature plasmas and nanoparticles-platinum and gold-Plasma Medical & Agricultural Application II
3. 学会等名	11th International Conference on Reactive Plasmas/2022 Gaseous Electronics Conference (ICRP-11/GEC2022) (国際学会)
4. 発表年	2022年

1. 発表者名	Taiga Nishida, Naoyuki Iwata, Tomiyasu Murata, Hiromasa Tanaka, Masaru Hori, Masafumi Ito
2. 発表標題	Inactivation of Breast Cancer Cells using Nitrogen-Oxygen-Radical-Activated Lactate Ringer's Solution
3. 学会等名	11th International Conference on Reactive Plasmas/2022 Gaseous Electronics Conference (ICRP-11/GEC2022) (国際学会)
4. 発表年	2022年

1. 発表者名	Takayoshi TSUTSUMI, Hiroki KONDO, Kenji ISHIKAWA, Makoto SEKINE, Masaru HORI
2. 発表標題	Ion Induced Damage in Plasma Enhanced Atomic Layer Etching Processing
3. 学会等名	第32回 日本MRS年次大会 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年	2022年

1. 発表者名 Liyin DU, Camelia MIRON, Satoshi KASHIWAGURA, Takashi KONDO, Hiromasa TANAKA, Kenji ISHIKAWA, Masaaki MIZUNO, Shinya TOYOKUNI, Hiroaki KAJIYAMA, Masaru HORI
2. 発表標題 Investigation of anti-tumor effect mechanism by plasma treated L-Arginine solutions
3. 学会等名 第32回 日本MRS年次大会 (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Hiromasa TANAKA, Masaaki MIZUNO, Kenji ISHIKAWA, Hiroaki KAJIYAMA, Shinya TOYOKUNI, Fumitaka KIKKAWA, Masaru HORI
2. 発表標題 Plasma-activated solutions in plasma life science
3. 学会等名 第32回 日本MRS年次大会 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Masaru Hori
2. 発表標題 Challenges of Plasma Science and Technology for Green Semiconductor Manufacturing
3. 学会等名 International Symposium on Semiconductor Manufacturing 2022 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Liyin Du, Carmelia Miron, Saitoshi Kashiwagura, Takashi Kondo, Hiromasa Tanaka, Kenji Ishikawa, Masaaki Mizuno, Shinya Toyokuni, Hiroaki Kajiya, and Masaru Hori
2. 発表標題 Investigation of anti-tumor effect mechanism by plasma irradiated L-Arginine solution
3. 学会等名 ISPlasma2023 / IC-PLANTS2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Takashi Kondo, Hiroshi Hashizume, Jun Kumagai, Hiromasa Tanaka, Kenji Ishikawa, Masaru Hori
2. 発表標題 "Low temperature plasma chemistry of aqueous solutions of amino acids. A spin trapping study "
3. 学会等名 ISPlasma2023 / IC-PLANTS2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Hiroshi Hashizume, Kohei Nakano, Kaoru Sanda, Akiko Abe, Hiroko Mizuno, Manasikan Thammawong, Camelia Miron, Nikolay Britun, Teruaki Shimazu, Hiromasa Tanaka, and Masaru Hori.
2. 発表標題 Cold plasma treatment during cultivation affects flesh firmness of strawberry fruits
3. 学会等名 ISPlasma2023 / IC-PLANTS2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Hiroshi Hashizume, Hidemi Kitano, Hiroko Mizuno, Akiko Abe, Kaoru Sanda, Shih-Nan Hsiao, Genki Yuasa, Satoe Tohno, Hiromasa Tanaka, Kenji Ishikawa, Shogo Matsumoto, Hitoshi Sakakibara, Yuji Hirotsue, Masayoshi Maeshima, Masaaki Mizuno, and Masaru Hori.
2. 発表標題 Control of generating white core in grains of brewer's rice cultivar with direct plasma irradiation to spikelet after flowering
3. 学会等名 ISPlasma2023 / IC-PLANTS2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Yuya Kurebayashi, Kenji Ishikawa, Hiroshi Hashizume, Hiromasa Tanaka, Shinichi Akiyama, and Masaru Hori
2. 発表標題 Effects of non-equilibrium atmospheric pressure plasma on zebrafish
3. 学会等名 ISPlasma2023 / IC-PLANTS2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Takumi Hashimoto, Hiroki Kondo, Hiromasa Tanaka, Kenji Ishikawa, Takayoshi Tsutsumi, Makoto Sekine, Takao Yasui, Yoshinobu Baba, Mineo Hiramatsu and Masaru Hori
2. 発表標題 Morphological effect of carbon nanowalls on exosome capture
3. 学会等名 ISPlasma2023 / IC-PLANTS2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Daichi Goto, Naoyuki Iwata, Kenji Ishikawa, Hiroshi Hashizume, Hiromasa Tanaka, Masafumi Ito and Masaru Hori
2. 発表標題 Analysis of Effect of Neutral-Oxygen-Radical Irradiation on Biodegradation of Polyethylene Terephthalate using High-Performance Liquid Chromatography
3. 学会等名 ISPlasma2023 / IC-PLANTS2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Taiga Nishida, Naoyuki Iwata, Tomiyasu Murata, Hiromasa Tanaka, Masaru Hori and Masafumi Ito
2. 発表標題 Effect of Lactate Activated with Nitrogen and Oxygen Radicals on Inactivation of Breast Cancer Cells
3. 学会等名 ISPlasma2023 / IC-PLANTS2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Daichi Goto, Naoyuki Iwata, Kenji Ishikawa, Hiroshi Hashizume, Hiromasa Tanaka, Masafumi Ito and Masaru Hori
2. 発表標題 Analysis of Effect of Neutral-Oxygen-Radical Irradiation on Biodegradation of Polyethylene Terephthalate Using High-Performance Liquid Chromatography
3. 学会等名 ISPlasma2023 / IC-PLANTS2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Yuya Kurebayashi, Kenji Ishikawa, Hiroshi Hashizume, Hiromasa Tanaka, Shinichi Akiyama and Masaru Hori
2. 発表標題 Effects of Non-Equilibrium Atmospheric Pressure Plasma on Zebrafish
3. 学会等名 ISPlasma2023 / IC-PLANTS2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Kyosuke Sugie, Jun-Seok Oh, Hiromasa Tanaka, Masaru Hori and Masafumi Ito
2. 発表標題 Mass Spectrometric Study of Ions and Neutral Species Generated by a High-Density Atmospheric-Pressure Plasma Source
3. 学会等名 ISPlasma2023 / IC-PLANTS2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Kenji Ishikawa, Hiromasa Tanaka, Hirokazu Hara, Shin-ichi Kondo, Masafumi Ito, Kazunori Koga, Masaharu Shiratani, and Masaru Hori
2. 発表標題 Plasma-driven science for emerging plasma-processing technologies
3. 学会等名 ISPlasma2023 / IC-PLANTS2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 堀 勝
2. 発表標題 設立趣旨と理念
3. 学会等名 プラズマソサエティ/グリーン・DXプラズマコンソーシアム設立記念講演会 (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 田中 宏昌, 水野 正明, 石川 健治, 梶山 広明, 豊國 伸哉, 吉川 史隆, 堀 勝
2. 発表標題 プラズマ活性溶液による細胞運命の制御
3. 学会等名 2022年 第83回 応用物理学会 秋季学術講演(招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 堀 勝, 関根 誠, 石川 健治
2. 発表標題 ウエハプロセスのグリーン化イノベーションに向けた戦 略的挑戦
3. 学会等名 2022年 第83回 応用物理学会 秋季学術講演(招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 出野 雄大, 柏倉 慧史, 田中 宏昌, 石川 健治, 橋爪 博司, 中村 香江, 豊國 伸哉, 水野 正明, 梶山 広明, 堀 勝
2. 発表標題 プラズマ活性乳酸リンゲル液によるマクロファージの形質発現誘導
3. 学会等名 2022年 第83回 応用物理学会 秋季学術講演
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 紅林 佑弥, 石川 健治, 田中 宏昌, 秋山 真一, 橋爪 博司, 堀 勝
2. 発表標題 非平衡大気圧プラズマを用いた陸上養殖実現に向けた基礎的研究
3. 学会等名 2022年 第83回 応用物理学会 秋季学術講演
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 西田 大河、岩田 直幸、村田 富保、田中 宏昌、堀 勝、伊藤 昌文
2. 発表標題 酸化窒素ラジカル活性化乳酸リンゲル液の乳がん細胞に対する選択的不活性化効果
3. 学会等名 2022年 第83回 応用物理学会 秋季学術講演
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 堀 勝
2. 発表標題 低温プラズマ科学の魅力
3. 学会等名 岐阜大学工学部付属 プラズマ応用研究センター開所式（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 近藤 隆、熊谷 純、平山亮一、橋爪 博司、田中 宏昌、石川 健治、堀 勝
2. 発表標題 低温大気圧プラズマによるフリーラジカル生成とその生物学的意義-放射線との比較-
3. 学会等名 第2回 若手放射線影響研究会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 堀 勝
2. 発表標題 ラジカル制御によるプラズマエレクトロニクスの進化
3. 学会等名 第70回 応用物理学会春季学術講演会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 橋爪 博司、三田 薫、水野 寛子、阿部 明子、タンマウォン マナスィカン、ミロン カメリア、ブリトン ニコライ、田中 宏昌、嶋津 光鑑、中野 浩平、堀 勝
2. 発表標題 イチゴ栽培での低温プラズマ処理による果実硬度への効果の検討
3. 学会等名 第70回 応用物理学会春季学術講演会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 杉江 恭輔、呉 準席、田中 宏昌、堀 勝、伊藤 昌文
2. 発表標題 大気圧プラズマ源の構造の違いが中性ラジカル生成密度に及ぼす影響
3. 学会等名 第70回 応用物理学会春季学術講演会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小島 悠暉、近藤 博基、田中 宏昌、石川 健治、橋爪 博司、堀 勝
2. 発表標題 カーボンナノウォール足場上での電気刺激重畳培養におけるヒト間葉系幹細胞の形態変化
3. 学会等名 第70回 応用物理学会春季学術講演会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 山川 太嗣、石川 健治、橋爪 博司、田中 宏昌、堀 勝
2. 発表標題 プラズマ活性乳酸リンゲル液によるがん細胞死経路上のオートファジー観察
3. 学会等名 第70回 応用物理学会春季学術講演会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 紅林 佑弥、石川 健治、田中 宏昌、秋山 真一、橋爪 博司、堀 勝
2. 発表標題 非平衡大気圧プラズマがゼブラフィッシュに及ぼす影響とその機構解明
3. 学会等名 第70回 応用物理学会春季学術講演会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Masaru Hori
2. 発表標題 Current status and future prospects of plasma medicine
3. 学会等名 The Vacuum Society of the Philippines, inc. (VSP) Plasma and Society (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Hiromasa Tanaka and Masaru Hori
2. 発表標題 Indirect plasma application
3. 学会等名 7th International Workshop on Plasma for Cancer Treatment (IWPCT-2021) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Masaru Hori
2. 発表標題 Plasma Activated Medium and its Applications to Medicines
3. 学会等名 8th International Conference on Plasma Medicine (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 M. Hori, H. Tanaka, M. Mizuno, K. Ishikawa, K. Nakamura, H. Kajiyama, Y. Okazaki, S. Toyokuni, F. Kikkawa
2. 発表標題 Cell death mechanisms by plasma activated medium and plasma activated Ringer 's lactate solution
3. 学会等名 8th International Conference on Plasma Medicine (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Kenji Ishikawa, RyoArita, Takamasa Okumura, Pankaj Attri, Kazunori Koga, RyoyaSato, Hayate Tanaka, Masaya Hiromatsu, Kayo Matsuo, DaisukeYamashita, KunihiroKamataki, Naho Itagaki, Masaru Hori and Masaharu Shiratani
2. 発表標題 Dynamical Changes in Free-radical Signals of Seeds during Water Imbibition
3. 学会等名 8th International Conference on Plasma Medicine (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Shou Ito, Kiyota Sakai, Jun-Seok Oh, Vladislav Gamaleev, Masafumi Ito, Masaru Hori, Motoyuki Shimizu, and Masashi Kato
2. 発表標題 Oxygen-radical Treatment Promotes Enzymatic Cellulose Degradation and Alleviates Lignin-derived Phenolic Toxicity in Yeast: Implications for Biofuel Production
3. 学会等名 8th International Conference on Plasma Medicine (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Hiromasa Tanaka and Masaru Hori
2. 発表標題 Indirect plasma application
3. 学会等名 7th International Workshop on Plasma for Cancer Treatment (IWPCT-2021) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Kae Nakamura, Masaaki Mizuno, Nobuhisa Yoshikawa, Hiromasa Tanaka, Katsumi Ebisawa, Yuzuru Kamei, Shinya Toyokuni, Akihiro Niwa, Takahiro Jindo, Masaru Hori, Fumitaka Kikkawa and Hiroaki Kajiyama
2. 発表標題 Plasma-activated Solution Promotes Wound Healing in Diabetic Mouse via Keratinocytes Activation
3. 学会等名 8th International Conference on Plasma Medicine (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Hiroschi Hashizume, HidemiKitano, Hiroko Mizuno, Akiko Abe, Genki Yuasa, SatoeTohno, Hiromasa Tanaka, Kenji Ishikawa, Shogo Matsumoto, Hitoshi Sakakibara, Susumu Nikawa, Masayoshi Maeshima, Masaaki Mizuno and Masaru Hori
2. 発表標題 Efficacy for Rice Plant Growth with Plasma Irradiation to Seeds
3. 学会等名 8th International Conference on Plasma Medicine (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Hiromasa Tanaka, Masaaki Mizuno, Kenji Ishikawa, Hiroshi Hashizume, Yasumasa Okazaki, Shinya Toyokuni, Kae Nakamura, Hiroaki Kajiyama, Fumitaka Kikkawa, and Masaru Hori
2. 発表標題 Comprehensive analyses revealed the differences of cell death mechanisms between PAM- and PAL-treated glioblastoma.
3. 学会等名 Asian-European International Conference on Plasma Surface Engineering (AEPSE 2021) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Kenji Ishikawa, Hiromasa Tanaka, Hiroaki Kajiyama, Shinya Toyokuni, Masaaki Mizuno and Masaru Hori
2. 発表標題 Low-temperature plasma-activated solutions and metabolic modification
3. 学会等名 5th Asia-Pacific Conference on Plasma Physics (AAPPs-DPP2021) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名	Hiromasa Tanaka, Yugo Hosoi, Kenji Ishikawa, Jun Yoshitake, Takahiro Shibata, Koji Uchida, Hiroshi Hashizume, Masaaki Mizuno, Yasumasa Okazaki, Shinya Toyokuni, Kae Nakamura, Hiroaki Kajiyama, Fumitaka Kikkawa, and Masaru Hori
2. 発表標題	Components in plasma-activated Ringer ' s lactate solution that induce cell death on U251SP glioblastoma cells
3. 学会等名	The12th Asia-Pacific International Symposium on the Basics and Applications of Plasma Technology (APSPT-12) (国際学会)
4. 発表年	2021年

1. 発表者名	Kenji Ishkawa, Hiromasa Tanaka, Hiroaki Kajiyama, Shinya Toyokuni, Masaaki Mizuno, and Masaru Hori
2. 発表標題	Toward plasma cancer therapy and intracellular metabolic modifications by treatments using low-temperature plasma-activated solutions
3. 学会等名	30th International Toki Conference on Plasma and Fusion Research (国際学会)
4. 発表年	2021年

1. 発表者名	Kenji Ishkawa, Camelia Miron, Takashi Kondo, Hiromasa Tanaka, and Masaru Hori
2. 発表標題	Plasma-biological reaction networks and aqueous radical chemistry
3. 学会等名	31st Material Research Society in Japan (MRS-J) (国際学会)
4. 発表年	2021年

1. 発表者名	Hiromasa Tanaka, Yugo Hosoi, Kenji Ishikawa, Jun Yoshitake, Takahiro Shibata, Koji Uchida, Hiroshi Hashizume, Masaaki Mizuno, Yasumasa Okazaki, Shinya Toyokuni, Kae Nakamura, Hiroaki Kajiyama, Fumitaka Kikkawa and Masaru Hori
2. 発表標題	Components in Plasma-Activated Ringer ' s Lactate Solution that Induce Cell Death on U251SP Glioblastoma Cells
3. 学会等名	12th Asia-Pacific International Symposium on the Basics and Applications of Plasma Technology (APSPT-12) (国際学会)
4. 発表年	2021年

1. 発表者名 Takumi Yamauchi, Naoyuki Iwata, Kenji Ishikawa, Hiroshi Hashizume, Hiromasa Tanaka, Shin'ichi Akiyama, and Masaru Hori.
2. 発表標題 Growth promotion of cultured feed Artemia irradiated with low-temperature plasma
3. 学会等名 31st Material Research Society in Japan (MRS-J) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Daiki Ito, Naoyuki Iwata, Kenji Ishikawa, Hiroshi Hashizume, Kae Nakamura, Camelia Miron, Hiromasa Tanaka, Hiroaki Kajiyama, Shinya Toyokuni, Masaaki Mizuno, and Masaru Hori
2. 発表標題 Production of plasma-activated Ringer's lactate solution with regulated surrounding atmosphere
3. 学会等名 31st Material Research Society in Japan (MRS-J) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Satoshi Kashiwagura, Naoyuki Iwata, Kenji Ishikawa, Hiroshi Hashizume, Camelia Miron, Kae Nakamura, Hiromasa Tanaka, Hiroaki Kajiyama, Shinya Toyokuni, Masaaki Mizuno, and Masaru Hori
2. 発表標題 Anti-tumor effect of plasma-activated solution produced by the flowing system
3. 学会等名 31st Material Research Society in Japan (MRS-J) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Hiroshi Hashizume, Hidemi Kitano, Hiroko Mizuno, Akiko Abe, Kaoru Sanda, Genki Yuasa, Satoe Tohno, Hiromasa Tanaka, Kenji Ishikawa, Shogo Matsumoto, Hitoshi Sakakibara, Susumu Nikawa, Masayoshi Maeshima, Masaaki Mizuno, and Masaru Hori
2. 発表標題 Effects of cold plasma treatment with rice seedlings in a paddy on yield and grain quality for different cultivars
3. 学会等名 31st Material Research Society in Japan (MRS-J) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名	Hiromasa Tanaka, Shogo Maeda, Shogo Matsumura, Masaaki Mizuno, Kenji Ishikawa, Masafumi Ito, Hiroshi Hashizume, Mikako Ito, Kinji Ohno, Kae Nakamura, Hiroaki Kajiyama, Fumitaka Kikkawa, Yasumasa Okazaki, Shinya Toyokuni, and Masaru Hori
2. 発表標題	Cellular Respiration System Affected by Low-temperature Plasma
3. 学会等名	31st Material Research Society in Japan (MRS-J) (国際学会)
4. 発表年	2021年

1. 発表者名	Daichi Goto, Naoyuki Iwata, Kenji Ishikawa, Hiroshi Hashizume, Hiromasa Tanaka, Masafumi Ito, and Masaru Hori
2. 発表標題	Enhancement of biodegradation technology of polyethylene terephthalate with plasma-pretreatment
3. 学会等名	31st Material Research Society in Japan (MRS-J) (国際学会)
4. 発表年	2021年

1. 発表者名	Camelia Miron, Nikolay Britun, Hiroki Kondo, Kae Nakamura, Hiroshi Hashizume, Hiromasa Tanaka, Kenji Ishikawa, and Masaru Hori
2. 発表標題	Physicochemical Investigation of Plasma Activated Lactate Solutions
3. 学会等名	14th International Symposium on Advanced Plasma Science and Its Applications for Nitrides and Nanomaterials (国際学会)
4. 発表年	2022年

1. 発表者名	Hiroshi Hashizume, Hidemi Kitano, Hiroko Mizuno, Akiko Abe, Kaoru Sanda, Genki Yuasa, Satoe Tohno, Hiromasa Tanaka, Kenji Ishikawa, Shogo Matsumoto, Hitoshi Sakakibara, Susumu Nikawa, Masayoshi Maeshima, Masaaki Mizuno, and Masaru Hori.
2. 発表標題	Quality-Increasing Effect of Plasma Treatment in a Paddy on Various Rice Cultivars
3. 学会等名	14th International Symposium on Advanced Plasma Science and Its Applications for Nitrides and Nanomaterials (国際学会)
4. 発表年	2022年

1 . 発表者名 Daichi Goto, Naoyuki Iwata, Kenji Ishikawa, Hiroshi Hashizume, Hiromasa Tanaka, Masafumi Ito and Masaru Hori
2 . 発表標題 Improvement of Efficiency of Biodegradation of Polyethylene Terephthalate using Neutral-Oxygen-Radical Source
3 . 学会等名 14th International Symposium on Advanced Plasma Science and Its Applications for Nitrides and Nanomaterials (国際学会)
4 . 発表年 2022年

1 . 発表者名 Takumi Yamauchi, Naoyuki Iwata, Kenji Ishikawa, Hiroshi Hashizume, Hiromasa Tanaka, Shinichi Akiyama, and Masaru Hori
2 . 発表標題 Measurement of RONS concentration in plasma-irradiated artificial seawate
3 . 学会等名 14th International Symposium on Advanced Plasma Science and Its Applications for Nitrides and Nanomaterials (国際学会)
4 . 発表年 2022年

1 . 発表者名 Yang Liu, Yoshimichi Nakatsu, Hiromasa Tanaka, Kazunori Koga, Kenji Ishikawa, Masaharu Shiratani, and Masaru Hori
2 . 発表標題 Genotoxic effects of plasma activated Ringer ' s lactate solution on cancer cells
3 . 学会等名 14th International Symposium on Advanced Plasma Science and Its Applications for Nitrides and Nanomaterials (国際学会)
4 . 発表年 2022年

1 . 発表者名 Daiki Ito, Naoyuki Iwata, Kenji Ishikawa, Hiroshi Hashizume, Kae Nakamura, Camelia Miron, Hiromasa Tanaka, Hiroaki kajiyama, Shinya Toyokuni, Masaaki Mizuno and Masaru Hori
2 . 発表標題 Evaluation of Selective AntiCancer Effect in PlasmaActivated Ringer's Lactate Solution Produced by Regulated Surrounding Atmosphere
3 . 学会等名 14th International Symposium on Advanced Plasma Science and Its Applications for Nitrides and Nanomaterials (国際学会)
4 . 発表年 2022年

1. 発表者名 Masaru Hori, Hiromasa Tanaka and Kenji Ishikawa
2. 発表標題 Tuning Plasma-Knobs to Control Seamless Radical-Induced Biological Reaction Processes
3. 学会等名 14th International Symposium on Advanced Plasma Science and Its Applications for Nitrides and Nanomaterials (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Koki Ono, Takashi Koide, Kenji Ishikawa, Hiromasa Tanaka, Hiroki Kondo, Ayae SugawaraNarutaki, Yong Jin, Shigeo Yasuhara, Masaru Hori and Wakana Takeuchi
2. 発表標題 Biocompatibility of Conformal Coating of SiC on Carbon Nanowall Scaffold
3. 学会等名 14th International Symposium on Advanced Plasma Science and Its Applications for Nitrides and Nanomaterials (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 西田 大河、堀 侑己、岩田 直幸、呉 準席、村田 富保、堀 勝、伊藤 昌文
2. 発表標題 線維芽細胞増殖促進における大気圧プラズマ中の重要中性活性種の同定
3. 学会等名 第82回 応用物理学会秋季学術講演会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岩田 直幸、石川 健治、橋爪 博司、田中 宏昌、伊藤 昌文、堀 勝
2. 発表標題 酸素ラジカル照射したI-トリプトファン溶液の殺菌効果
3. 学会等名 第82回 応用物理学会秋季学術講演会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 浪崎 高志、岩田 直幸、手老 龍吾、堀 勝、伊藤 昌文
2. 発表標題 酸素ラジカル照射されたL-トリプトファン溶液中の支持脂質二重膜の側方拡散係数変化
3. 学会等名 第82回 応用物理学会秋季学術講演会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山内 拓海、石川 健治、田中 宏昌、秋山 真一、橋爪 博司、堀 勝
2. 発表標題 低温プラズマ照射した養殖餌料アルテミアの成長促進
3. 学会等名 第82回 応用物理学会秋季学術講演会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 五藤 大智、岩田 直幸、石川 健治、橋爪 博司、田中 宏昌、伊藤 昌文、堀 勝
2. 発表標題 ポリエチレンテレフタラートの新しい生分解プラズマ技術の開発
3. 学会等名 第82回 応用物理学会秋季学術講演会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 伊藤 大貴、岩田 直幸、石川 健治、橋爪 博司、中村 香江、ミロン カメリア、田中 宏昌、梶山 広明、豊國 伸哉、水野 正明、堀 勝
2. 発表標題 Arバージ下でプラズマ照射した乳酸リンゲル液の抗腫瘍効果の評価
3. 学会等名 第82回 応用物理学会秋季学術講演会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小野 浩毅、小出 崇史、石川 健治、田中 宏昌、近藤 博基、鳴瀧 彩絵、金 勇、安原 重雄、堀 勝、竹内 和歌奈
2. 発表標題 CNW細胞培養基板上のSiCコートが細胞増殖に与える影響
3. 学会等名 第82回 応用物理学会秋季学術講演会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 柏倉 慧史、岩田 直幸、石川 健治、橋爪 博司、カメラア ミロン、中村 香江、田中 宏昌、梶山 広明、豊國 伸哉、水野 正明、堀 勝
2. 発表標題 流液への照射によるプラズマ活性溶液の大量作製と抗腫瘍効果の評価
3. 学会等名 第82回 応用物理学会秋季学術講演会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 田中 宏昌、前田 昌吾、松村 翔伍、水野 正明、石川 健治、伊藤 昌文、橋爪 博司、伊藤 美佳子、大野 欽司、中村 香江、梶山 広明、吉川 史隆、岡崎 泰昌、豊國 伸哉、堀 勝
2. 発表標題 プラズマ活性溶液及びプラズマ照射が細胞呼吸に与える影響
3. 学会等名 第82回 応用物理学会秋季学術講演会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 堀 勝
2. 発表標題 低温プラズマ科学の魅力とプラズマファーマシーへの挑戦
3. 学会等名 名古屋大学低温プラズマ科学研究センター × 岐阜薬科大学 連携協力協定記念講演会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小野浩毅、小出崇史、石川健治、田中宏昌、近藤博基、鳴瀧彩絵、金勇、安原重雄、堀勝、竹内和歌奈
2. 発表標題 カーボンナノウォール上への SiC コーティングが細胞増殖に与える影響
3. 学会等名 日本表面真空学会 中部支部学術講演会(若手講演会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 橋爪 博司, 松本 省吾, 坪田 憲紀, 三田 薫, 水野 寛子, 阿部 明子, 湯浅 元気, 東野 里江, 田中 宏昌, 石川 健治, 伊藤 昌文, 北野 英己, 榊原 均, 仁川 進, 大熊 隆之, 前島 正義, 水野 正明, 堀 勝
2. 発表標題 低温プラズマ処理による高品質イチゴ果実の安定的生産
3. 学会等名 第 39 回 プラズマプロセッシング研究会 / 第 34 回 プラズマ材料科学シンポジウム (SPP-39/SPSM-34)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 田中 宏昌, 水野 正明, 石川 健司, 橋爪 博司, 中村 香江, 岡崎 康昌, 豊國 伸哉, 梶山 広明, 吉川 史隆, 堀 勝
2. 発表標題 プラズマ活性乳酸リンゲル液によるがん細胞死の分子機構
3. 学会等名 第 39 回 プラズマプロセッシング研究会 / 第 34 回 プラズマ材料科学シンポジウム (SPP-39/SPSM-34)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 五藤 大智, 岩田 直幸, 石川 健治, 橋爪 博司, 田中 宏昌, 伊藤 昌文, 上坂 裕之, 堀 勝
2. 発表標題 原子状酸素ラジカル処理したポリエチレンテレフタレートの実分解
3. 学会等名 第 39 回 プラズマプロセッシング研究会 / 第 34 回 プラズマ材料科学シンポジウム (SPP-39/SPSM-34)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 堀 勝
2. 発表標題 ラズマ活性媒質におけるプラズマ相互作用：医療分野 での応用
3. 学会等名 2022年第69回 応用物理学会 春季学術講演会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 橋本 拓海, 近藤 博基, 田中 宏昌, 石川 健治, 堤 隆嘉, 関根 誠, 安井 隆雄, 馬場 嘉信, 平松 美根男, 堀 勝
2. 発表標題 高効率エクソソーム解析に向けたカーボンナノウォール テンプレートの 表面電位制御
3. 学会等名 2022年第69回 応用物理学会 春季学術講演会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 五藤 大智, 岩田 直幸, 石川 健治, 橋爪 博司, 田中 宏昌, 伊藤 昌文, 堀 勝
2. 発表標題 中性酸素ラジカル源を用いたポリエチレンテレフタレー トの生分解速度の向上
3. 学会等名 2022年第69回 応用物理学会 春季学術講演会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 柏倉 慧史, 岩田 直幸, 石川 健治, 橋爪 博司, 田中 宏昌, 堀 勝
2. 発表標題 流液への照射によるプラズマ活性溶液の作製と短寿命活
3. 学会等名 2022年第69回 応用物理学会 春季学術講演会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 伊藤 大貴, 岩田 直幸, 石川 健治, 橋爪 博司, 中村 香江, ミロン カメリア, 田中 宏昌, 梶山 広明, 豊國 伸哉, 水野 正明, 堀 勝
2. 発表標題 プラズマ照射乳酸リンゲル液の抗腫瘍成分の評価
3. 学会等名 2022年第69回 応用物理学会 春季学術講演会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 田中 宏昌, 水野 , 石川 健司, 橋爪 博司, 中村 香江, 梶山 広明, 吉川 史隆, 岡崎 康昌, 豊國 伸哉, 堀 勝
2. 発表標題 網羅的解析に基づくプラズマ活性溶液による細胞死の機
3. 学会等名 2022年第69回 応用物理学会 春季学術講演会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 橋爪 博司, 北野 英己, 水野 寛子, 阿部 明子, 三田 薫, 蕭 世男, 湯浅 元気, 東野 里江, 田中 宏昌, 石川 健治, 松本 省吾, 榊原 均, 仁川 進, 前島 正義, 水野 正明, 堀 勝
2. 発表標題 稲穂への低温プラズマ照射がもたらす酒造品種玄米の品
3. 学会等名 2022年第69回 応用物理学会 春季学術講演会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Kenji Ishikawa, Masaru Hori
2. 発表標題 Diagnostics and therapy of cancer using plasma technology,
3. 学会等名 International Symposium on Medical and Radiation Physics (ISMARP-2020) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Masaru Hori
2. 発表標題 Future Technologies Opened by Low-temperature Plasma Sciences
3. 学会等名 The 11th International Symposium of Advanced Energy Science (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Masaru Hori
2. 発表標題 Plasma medicine toward a future medical care
3. 学会等名 The 46th International Congress on Science, Technology and Technology-based Innovation (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Masaru Hori
2. 発表標題 Dynamics of physicochemical reactions in time-modulation of plasmas for advanced semiconductor processes
3. 学会等名 73th Annual Gaseous Electronics Virtual Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Masaru Hori
2. 発表標題 Radical controlled plasma processes ~ Basic researches and innovations
3. 学会等名 4th Asia-Pacific Conference on Plasma Physics (AAPPS-DPP2020) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kenji Ishikawa, Kazunori Koga, Masaru Hori, and Masaharu Shiratani
2. 発表標題 Germination kinetics of plasma-activated seeds
3. 学会等名 4th Asia-Pacific Conference on Plasma Physics (AAPPS-DPP2020) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 堀 勝
2. 発表標題 低温プラズマ科学が拓く未来社会,
3. 学会等名 第 140 回 八大学工学関連研究科長等会議 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 田中宏昌、堀勝
2. 発表標題 様々なプラズマ活性溶液による細胞死の作用機序
3. 学会等名 第 81 回応用物理学会秋季学術 講演会 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Toyokuni S.
2. 発表標題 Ferroptosis at the crossroads of aging, infection and cancer: Non-thermal plasma as a ferroptosis inducer for cancer cells.
3. 学会等名 ISPlasma2021/IC-PLANTS2021 13th International Symposium on Advanced Plasma Science and its Applications for Nitrides and Nanomaterials 14th International Conference on Plasma-Nano Technology & Science (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Toyokuni S.
2. 発表標題 Role of redox-active metals for the prevention and treatment of cancer in the era of precision medicine. Role of Ferroptosis in carcinogenesis and tumor biology.
3. 学会等名 20th Biennial Meeting of Society for Free Radical Research International (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 豊國伸哉
2. 発表標題 がんはどうしてできるかのはなし
3. 学会等名 名古屋大学オープンレクチャー2021 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 豊國伸哉
2. 発表標題 市民公開講座：病理学研究の楽しみ
3. 学会等名 第109 回日本病理学会総会 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 豊國伸哉
2. 発表標題 がん予防への新概念 がん予防におけるフェロトーシスの意義
3. 学会等名 がん予防学術大会2020 米子 第27 回日本がん予防学会総会 第43 回日本がん疫学・分子疫学研究会総 会 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 豊國伸哉
2. 発表標題 細胞外微粒子の生体応用と発がん
3. 学会等名 日本分析化学会 第69 年会 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 梶山広明
2. 発表標題 婦人科悪性腫瘍におけるがん生殖医療の現状と展望
3. 学会等名 第11回日本がん・生殖 医療学会学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Kataoka, Y.,
2. 発表標題 Large-scale electron microscopy and imaging big data.
3. 学会等名 Foresight Program Meeting 2020 (JSPS) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Yamato, M., Kataoka, Y.
2. 発表標題 Large-scale electron microscopic analysis of temporal changes in tissue ultra-microstructure of adult rat cerebral cortex following atmospheric pressure plasma irradiation.
3. 学会等名 Foresight Program Meeting 2020 (JSPS) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Masafumi Ito,
2. 発表標題 Plasma enhanced biorefinery
3. 学会等名 3rd International Workshop on Plasma Agriculture (IWOPA3) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 伊藤昌文
2. 発表標題 低温プラズマのバイオ分野への応用
3. 学会等名 日本薬学会 東海支部 特別講演会, (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 伊藤昌文、太田貴之、熊谷慎也
2. 発表標題 ラジカル照射アミノ酸溶液による植物の成長促進
3. 学会等名 第1回低温プラズマ科学研究センター (cLPS) 公開シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Masafumi Ito, Naoyuki Iwata, Hiroshi Hashizume, Jun-Seok Oh, Masaru Hori
2. 発表標題 Plasma-activated Amino-acid Solution for Hydroponic Application,
3. 学会等名 30th Material Research Society of Japan (MRS-J) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Sakakibara, H.
2. 発表標題 Importance of cytokinin biosynthesis and translocation in shoot apical meristem.
3. 学会等名 日本植物学会第84 回大会シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Hiroschi Hashizume, Hidemi Kitano, Hiroko Mizuno, Akiko Abe, Genki Yuasa, Satoe Tohno, Hiromasa Tanaka, Kenji Ishikawa, Shogo Matsumoto, Hitoshi Sakakibara, Susumu Nikawa, Masayoshi Maeshima, Masaaki Mizuno, and Masaru Hori
2. 発表標題 Effectiveness of cold plasma treatment during rice cultivation for growth and yield
3. 学会等名 73rd Annual Gaseous Electronics Virtual Conference (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Hiromasa Tanaka, Shogo Maeda, Kae Nakamura, Hiroschi Hashizume, Kenji Ishikawa, Mikako Ito, Kinji Ohno, Masaaki Mizuno, Shinya Toyokuni, Hiroaki Kajiyama, Fumitaka Kikkawa, and Masaru Hori
2. 発表標題 Plasma activated Ringer's lactate solution affected cellular respiratory system on HeLa cells
3. 学会等名 73th Annual Gaseous Electronics Virtual Conference (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Naoyuki Iwata, Yuki Hori, Oh Jun-Seok, Tomiyasu Murata, Kenji Ishikawa, Masaru Hori, and Masafumi Ito
2. 発表標題 Proliferation promotion of fibroblast cells using atmospheric-pressure radical source
3. 学会等名 73th Annual Gaseous Electronics Virtual Conference (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kenji Ishikawa, Hiromasa Tanaka, Li Jiang, Shinya Toyokuni, Kae Nakamura, Hiroaki Kajiyama, Fumitaka Kikkawa, Masaaki Mizuno, Camelia Miron, and Masaru Hori
2. 発表標題 Metabolomic profiles of glioblastoma in plasma-activated solutions
3. 学会等名 73th Annual Gaseous Electronics Virtual Conference (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Ginji Ito, Naoyuki Iwata, Hiroshi Hashizume, Masaru Hori, and Masafumi Ito
2. 発表標題 Plant growth promotion using radical-activated L-alanine solution
3. 学会等名 73th Annual Gaseous Electronics Virtual Conference (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Yuki Hori, Tomiyasu Murata, Hiromasa Tanaka, Masaru Hori, and Masafumi Ito.
2. 発表標題 Apoptosis-inducing activity through caspase pathway in melanoma cells treated by radical-activated lactate Ringer's solution
3. 学会等名 73th Annual Gaseous Electronics Virtual Conference (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Vladislav Gamaleev, Nikolai Britun, and Masaru Hori
2. 発表標題 Generation of stable centimeter-scale glow discharge in presence of external gas flow.
3. 学会等名 73th Annual Gaseous Electronics Virtual Conference (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Camelia Miron, Yang Liu, Naoyuki Iwata, Kenji Ishikawa, Hiromasa Tanaka, Shinya Toyokuni, Masaaki Mizuno, and Masaru Hori.
2. 発表標題 Physicochemical investigation of plasma activated liquids
3. 学会等名 73th Annual Gaseous Electronics Virtual Conference (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Yuki Suda, Kenji Ishikawa, Hiroshi Hashizume, Hiromasa Tanaka, Takayoshi Tsutsumi, Hiroki Kondo, Makoto Sekine, and Masaru Hori.
2. 発表標題 Antitumor effect of plasma-activated Ringer ' s acetate solution
3. 学会等名 30th Annual Meeting of Material Research Society of Japan (MRS-J), (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Shogo Matsumura, Kenji Ishikawa, Hiromasa Tanaka, Hiroshi Hashizume, Masafumi Ito, and Masaru Hori.
2. 発表標題 Enhancement of alcohol fermentation of budding yeast by direct treatments of non-equilibrium atmospheric pressure plasma,
3. 学会等名 30th Annual Meeting of Material Research Society of Japan (MRS-J), (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Yamato, M., Tamura, Y., Maeda, M., Eguchi, A., Kume, S., Kataoka Y.
2. 発表標題 Large-scale electron microscopic analysis of change of tissue microstructure in adult rat cerebral cortex after irradiation of atmospheric-pressure plasma.
3. 学会等名 Neuro2020 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Maeda, M., Suga, M., Nakamura, M., Suzuki, K., Hasebe, Y., Kikuchi, N., Yamagichi, Y., Eguchi, A., Kume, S., Matsuzaki, R., Ueda, C., Kataoka, Y.,
2. 発表標題 Analysis of age-dependent change of tissue microstructure in mouse cerebral cortex using large-scale electron microscopy.
3. 学会等名 Neuro2020 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Tamura, Y., Takata, K., Eguchi, A., Kataoka, Y.,
2. 発表標題 NG2 glia are associated with neuroinflammation in adult rat brain.
3. 学会等名 Neuro2020 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 侑己、村田富保、田中宏昌、堀勝、伊藤昌文、
2. 発表標題 ラジカル活性乳酸リンゲル液で処理されたメラノーマ細胞におけるカスパーゼ依存性アポトーシス、
3. 学会等名 第 81 回応用物理学会秋季学術講演会、
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 岩田直幸、伊藤銀二、橋爪博司、石川健治、伊藤昌文、堀勝、
2. 発表標題 ラジカル活性アミノ酸溶液の植物成長促進効果の分析、
3. 学会等名 第 81 回応用物理学会秋季学術講演会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 伊藤銀二、岩田直幸、橋爪博司、堀勝、伊藤昌文、
2. 発表標題 ラジカル活性アミノ酸溶液を用いた植物成長促進のベンゼン環の重要性、
3. 学会等名 第 81 回応用物理学会秋季学術講演会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 池原早苗、秋元義弘、山口高志、榊田創、堀勝、池原讓、
2. 発表標題 大気圧非平衡プラズマを用いた糖鎖機能理解の深化とその利用、
3. 学会等名 第 81 回応用物理学会秋季学術講演会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 石川健治、田中宏昌、橋爪博司、ミロンカメリア、蔣麗、豊國伸哉、中村香江、梶山広明、吉川史隆、水野正明、堀勝、
2. 発表標題 プラズマ活性乳酸処理グリオーマのメタボロミクス解析(2)、
3. 学会等名 第 81 回 応用物理学会秋季学術講演会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 橋爪博司、北野英己、水野寛子、阿部明子、湯浅元気、東野里江、田中宏昌、石川健治、松本省吾、榊原均、仁川進、前島正義、水野正明、堀勝、
2. 発表標題 酒米品種イネ栽培における低温プラズマ処理の品質への効果、
3. 学会等名 第 81 回応用物理学会秋季学術講演会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 本岡 大社、豊國伸哉
2. 発表標題 アスベストは卵巣表層上皮に鉄過剰状態を形成し卵巣癌の発癌に関わる
3. 学会等名 第109 回日本病理学会総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 孔穎怡、豊國伸哉
2. 発表標題 BRCA1 deficiency modifies iron metabolism and ferric nitrilotriacetate-induced carcinogenesis
3. 学会等名 第 109 回日本病理学会総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 蔣麗、豊國伸哉
2. 発表標題 低温プラズマ活性化培養液を用いた悪性中皮腫の治療方法の開発
3. 学会等名 第109 回日 本病理学会総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 鄭好、豊國伸哉
2. 発表標題 生理的フェロトーシス可視化のためのバイオマーカーの開発
3. 学会等名 第109 回日本病 理学会総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 平野龍一、赤塚慎也、豊國伸哉
2. 発表標題 マウス系統間における腎酸化ストレス応答の際に関わる遺伝子 の解析
3. 学会等名 第109 回日本病理学会総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 石津裕梨、岡崎泰昌、豊國伸哉
2. 発表標題 低温プラズマにより生じるヒドロキシラジカルはアスコルビン 酸により効果的に消去される
3. 学会等名 第109 回日本病理学会総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 井上桃花、伊藤文哉、豊國伸哉
2. 発表標題 中皮オルガノイドの創出
3. 学会等名 第109 回日本病理学会総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 本岡大社、伊藤文哉、豊國伸哉
2. 発表標題 アスベストは卵巣表層上皮に鉄過剰状態を形成し卵巣癌の発癌 に関わる
3. 学会等名 文部科学省新学術領域研究学術研究支援基盤形成：先端モデル動物支援プラットフォーム 若手支援技術講習会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 林 祥太郎、豊國伸哉
2. 発表標題 卵巣子宮内膜症モデルマウスの作成
3. 学会等名 文部科学省新学術領域研究学術研 究支援基盤形成：先端モデル動物支援プラットフォーム 若手支援技術講習会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 本岡大社、伊藤文哉、豊國伸哉
2. 発表標題 アスベストは卵巣表層上皮に鉄過剰状態を形成し卵巣がんの発 がんに関わる
3. 学会等名 第10 回名古屋大学医学系研究科・生理学研究所合同シンポジウム
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 伊藤文哉、豊國伸哉
2. 発表標題 レドックス活性鉄の制御不全を介したアスベストにより発がん機構
3. 学会等名 第79 回日本癌学会学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 本岡大社、伊藤文哉、田代浩徳、片淵秀隆、豊國伸哉
2. 発表標題 アスベストとタルクは鉄過剰環境を形成 し卵巣癌の発がんに関わる
3. 学会等名 第79 回日本癌学会学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 赤塚慎也、蔣麗、エルザワハリ・アスマ、加藤 護、戸塚ゆ加里、柴田龍弘、豊國伸哉
2. 発表標題 アスベスト誘発ラット中皮腫におけるゲノム変異の特徴
3. 学会等名 第79 回日本癌学会学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 豊國伸哉
2. 発表標題 発がんにおけるフェロトーシスの意義
3. 学会等名 第31 回日本微量元素学会学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 本岡大社、伊藤文哉、豊國伸哉
2. 発表標題 アスベスト・タルクは卵巣表層上皮において細胞内の鉄および酸化ストレスの上昇を惹起し発がんに関わる
3. 学会等名 日本酸化ストレス学会東海支部第9回学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 伊藤文哉、豊國伸哉
2. 発表標題 アスベストによる細胞死依存性EV を介した中皮腫発がん機構の解明
3. 学会等名 第20 回分子予防環境医学研究会大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 北見和久, 伊吉祥平, 茂木一将, 宇野枢, 吉原雅人, 玉内学志, 芳川修久, 梶山広明
2. 発表標題 卵巣類内 膜癌に対する妊孕性温存手術の腫瘍学的予後の検討、
3. 学会等名 第11 回日本がん・生殖医療学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 茂木一将, 宇野枢, 伊吉祥平, 北見和久, 吉原雅人, 玉内学志, 芳川修久, 梶山広明、
2. 発表標題 妊孕性温 存手術を実施した早期卵巣癌患者の再発予後因子の検討、
3. 学会等名 第11 回日本がん・生殖医療学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 宇野枢, 茂木一将, 伊吉祥平, 北見和久, 吉原雅人, 玉内学志, 芳川修久, 梶山広明、
2. 発表標題 期卵巣 性索間質系腫瘍における子宮温存手術の検討、
3. 学会等名 第11 回日本がん・生殖医療学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 玉内学志, 梶山広明、
2. 発表標題 広汎子宮頸部切除術に続発する卵巣政府妊と、その克服に向けて、
3. 学会等名 第11 回日本がん・生殖医療学会学術集会、
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 吉田康将, 横井暁, 吉原雅人, 玉内学志, 芳川修久, 西野公博, 新美薫, 吉川史隆, 梶山広明、
2. 発表標題 "The role of chrXq27.3 miRNA cluster in advanced ovarian clear cell carcinoma",
3. 学会等名 第79 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 茂木一将, 吉原雅人, 北見和久, 伊吉祥平, 宇野枢, 田野翔, 杉山麻衣, 小屋美博, 玉内学志, 横井暁, 芳川修久, 那波明宏, 梶山広明、
2. 発表標題 "How do peritoneal mesothelial cells on adipose tissue attract ovarian cancer cells?"、
3. 学会等名 第79 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 北見和久, 吉原雅人, 杉山麻衣, 小屋美博, 伊吉祥平, 宇野枢, 茂木一将, 玉内学志, 横井暁, 芳川修久, 那波明宏, 梶山広明、
2. 発表標題 "Active vitamin D inhibits mesothelial-mesenchymal-transition accelerating peritoneal dissemination in ovarian cancer"
3. 学会等名 第 79 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 吉原雅人, 杉山麻衣, 小屋美博, 伊吉祥平, 北見和久, 宇野枢, 茂木一将, 田野翔, 玉内学志, 横井暁, 芳川修久, 那波明宏, 梶山広明、
2. 発表標題 "Intra-tumoral polarity induced by Notch signaling can be a novel therapeutic target for advanced ovarian cancer"、
3. 学会等名 第79 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 常 統博雅, 梶山広明, 芳川修久, 横井暁, 玉内学志, 吉原雅人、
2. 発表標題 "Luteolin suppresses Ovarian Cancer progression via decrease the expression of VRK1"、
3. 学会等名 第79 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小屋美博, 杉山麻衣, 吉原雅人, 柴田清住, 那波明宏, 梶山広明、
2. 発表標題 "Anti-tumor effect of 9-oxo-10,12-ODA on human cervical cancer cells"、
3. 学会等名 第79 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 宇野枢, 芳川修久, 吉原雅人, 田崎啓, 加藤昌志, 北見和久, 伊吉祥平, 玉内学志, 杉山麻衣, 小屋美博, 梶山広明、
2. 発表標題 "Visualization of platinum resistance through mapping trace elements"、
3. 学会等名 第79 回日本 癌学会学術総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小屋美博, 梶山広明, 吉原雅人, 杉山麻衣, 三木梨可, 友田豊, 山下守, 柴田清住, 那波明宏, 吉川史隆、
2. 発表標題 9-oxo-10,12-ODA のヒト子宮頸癌細胞に対する抗腫瘍効果の解析、
3. 学会等名 第72 回日本産科婦人 科学会学術講演会、
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 吉田康将, 横井暁, 玉内学志, 池田芳紀, 芳川修久, 西野公博, 新美薫, 鈴木史朗, 梶山広明, 吉川史隆、
2. 発表標題 Dysfunction of chrXq27.3 cluster miRNAs in recurrent ovarian clear cell carcinoma、
3. 学会等名 第72 回日 本産科婦人科学会学術講演会、
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 吉原雅人, 梶山広明, 杉山麻衣, 小屋美博, 北見和久, 伊吉祥平, 宇野枢, 那波明宏, 吉川史 隆、
2. 発表標題 Tumoral caravan migrating in malignant ascites : A novel mechanism of peritoneal dissemination of ovarian cancer resembling anthropological journey、
3. 学会等名 第72 回日本産科婦人科学会学術講演会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 伊吉祥平, 梶山広明, 吉原雅人, 杉山麻衣, 小屋美博, 北見和久, 宇野枢, 那波明宏, 吉川史 隆、
2. 発表標題 Novel strategy for targeting peritoneal dedifferentiated adipocyte derived mesenchymal cells ; converted supporter of ovarian cancer in a lipo-tumoral microenvironment、
3. 学会等名 第72 回日本産科婦人科学会学術講演会、
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 宇野枢, 吉原雅人, 伊吉祥平, 北見和久, 杉山麻衣, 小屋美博, 那波明宏, 梶山広明, 吉川史 隆、
2. 発表標題 Critical role of cancer associated mesothelial cells to generate dormant ovarian cancer cells in the niche of peritoneal dissemination、
3. 学会等名 第72 回日本産科婦人科学会学術講演会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 北見和久, 梶山広明, 吉原雅人, 杉山麻衣, 小屋美博, 伊吉祥平, 宇野枢, 那波明宏, 吉川史 隆、
2. 発表標題 Novel therapeutic strategy using drug repositioning of active vitamin D ; A possible inhibitor of the tumor-inducible mesothelial-mesenchymal-transition accelerating peritoneal dissemination in ovarian cancer、
3. 学会等名 第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 芳川修久, 吉田康将, 吉田康将, 池田芳紀, 西野公博, 新美薫, 鈴木史朗, 梶山広明, 吉川史 隆、
2. 発表標題 Impact of Preoperative Prognostic Nutritional Index on Survival in Patients with Early-Stage Ovarian Clear Cell Carcinoma、
3. 学会等名 第72 回日本産科婦人科学会学術講演会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 玉内学志, 大須賀智子, 森山佳則, 吉原雅人, 吉田康将, 梶山広明, 吉川史隆、
2. 発表標題 卵巣予備能は広 汎子宮頸部切除術によって低下する 子宮頸癌に対する妊孕性温存治療のpitfall、
3. 学会等名 第72 回日本産科婦 人科学会学術講演会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 池田芳紀, 甲木聡, 大野真由, 北見和久, 芳川修久, 新美薫, 中村智子, 大須賀智子, 鈴木史 朗, 梶山広明, 吉川史隆、
2. 発表標題 子宮体癌に対する低侵襲手術の術後疼痛の比較、
3. 学会等名 第72 回日本産科婦人科 学会学術講演会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 大野真由, 藤掛佳代, 玉内学志, 池田芳紀, 芳川修久, 西野公博, 新美薫, 鈴木史朗, 梶山広明, 吉川史隆、
2. 発表標題 再発卵巣癌に対するオラパリブの臨床学的検討、
3. 学会等名 第72 回日本産科婦人科学会学術講 演会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 新保暁子, 玉内学志, 池田芳紀, 芳川修久, 西野公博, 新美薫, 鈴木史朗, 梶山広明, 吉川史 隆、
2. 発表標題 卵巣癌III 期の診断後にBRCA1/2 遺伝子パリアント陽性と診断された4 症例の検討、
3. 学会等名 第72 回日本 産科婦人科学会学術講演会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Numa, C., Nagai, H., Nagai, M., Ohno, N., Furuse, M., Kataoka, Y., Furuyashiki, T.,
2. 発表標題 マウスの社会ストレスは前 頭前皮質錐体神経細胞の樹状突起消失に先行して細胞内変性を誘導する
3. 学会等名 第94 回日本薬理学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 前田光代、須賀三雄、江口麻美、片岡洋祐
2. 発表標題 広域電子顕微鏡システムと改良CLEM 法による脳梗塞モ デルマウスの細胞治療及びアストロサイトの貪食能に関する研究
3. 学会等名 第61 回日本組織細胞化学会総 会・学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 山野恵美、杉本昌弘、久米慧嗣、渡辺恭良、曾我朋義、Bateman Lucinda、Vernon Suzanne D.、片岡洋祐
2. 発表標題 米国サンプルを用いた筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群におけるメタボロミクス研究
3. 学会等名 第16 回日本疲労学会（神戸・理化学研究所）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 西村深雪、魚津伸夫、由井慶、高田孔美、田村泰久、片岡洋祐
2. 発表標題 小麦末粉水抽出物が脳機能へ及ぼす影響
3. 学会等名 第41 回日本臨床栄養学会大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 H. Tanaka & M. Hori
2. 発表標題 Plasma activated media for cancer treatment
3. 学会等名 6th International Workshop on Plasma for Cancer Treatment (IWPECT2019) Mini-course: Plasma & Cancer , Antwerp, Belgium , 2019/04/01 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Y.Kodera, S.Yamada, K.Torii, N.Hattori, S.Takeda, Y.Sato, H.Tanaka, M.Mizuno and M.Hori
2. 発表標題 Plasma-activated fluids as a novel treatment option for peritoneal metastasis from gastric/pancreatic cancer
3. 学会等名 6th International Workshop on Plasma for Cancer Treatment (IWPECT2019) , Antwerp, Belgium , 2019/04/02 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1 . 発表者名 Masaru Hori
2 . 発表標題 Challenge of atomic layer and molecular processes for future plasma chemistry
3 . 学会等名 8th Central European Symposium on Plasma Chemistry , Gozd Martuljek, Slovenia , 2019/05/27 (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Hiroki Kondo, Takayoshi Tsutsumi, Keigo Takeda, Kenji Ishikawa, Makoto Sekine, Masaru Hori, Mineo Hiramatsu
2 . 発表標題 Plasma-assisted Synthesis and Modification of Carbon Nanowalls for Emerging Applications
3 . 学会等名 International Conference NANO-M&D2019 Fabrication, Properties and Applications of Nano-Materials and Nano-Devices , Paestum, Italy , 2019/06/08 (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Keigo Takeda, Kenji Ishikawa, Takayuki Tsutsumi, Hiroki Kondo, Makoto Sekine, Masaru Hori
2 . 発表標題 Electrical, optical, and physicochemical behaviors of atmospheric pressure plasma jet generated in open air
3 . 学会等名 "3rd Asia-Pacific Conference on Plasma Physics(AAPPS-DPP2019)" , Hefei, China , 2019/11/06 (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Masaru Hori
2 . 発表標題 Leading Edge of Plasma Process Research
3 . 学会等名 "International Conference on Solid State Devices and Materials 2019(Satellite Workshop Current Status and Future of Plasma Process)" , Nagoya, Aichi , 2019/09/02 (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1. 発表者名 Osamu Oda and Masaru Hori
2. 発表標題 Novel Epitaxy for Nitride Semiconductors Using Plasma Technology
3. 学会等名 2nd International Conference on Radiation and Emission in Materials , Bangkok, Thailand , 2019/12/17 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Masaru Hori
2. 発表標題 Challenge of Low-temperature Plasma Sciences towards SDGs
3. 学会等名 "The 12th Asian-European International Conference on Plasma Surface Engineering (AEPSE 2019)" , Jeju-do, Korea , 2019/09/04 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hiromasa Tanaka, Masaaki Mizuno, Yuko Katsumata, Kenji Ishikawa, Hiroki Kondo, Hiroshi Hashizume, Yasumasa Okazaki, Shinya Toyokuni, Kae Nakamura, Nobuhisa Yoshikawa, Hiroaki Kajiyama, Fumitaka Kikkawa, and Masaru Hori
2. 発表標題 ene expression analyses revealed the differences of intracellular molecular mechanisms of PAM- and PAL-induced cell death
3. 学会等名 "The 12th Asian-European International Conference on Plasma Surface Engineering (AEPSE 2019)" , Jeju-do, Korea , 2019/09/03 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ohta, T. Saida , M. Hori
2. 発表標題 Synthesis of nano-materials using gas-liquid interfacial plasma
3. 学会等名 The 10th international conference on plasma nanoscience(iPlasmaNano X 2019) , Porec; Croatia , 2019/09/16 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1 . 発表者名 M. Hori, K. Ishikawa, M. Sekine and M. Hiramatsu
2 . 発表標題 Challenge of Plasma Nanoprocesses for Industry and Life Innovations
3 . 学会等名 the 10th international conference on plasma nanoscience(iPlasmaNano X 2019) , Porec; Croatia , 2019/09/17 (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Masaru Hori, Mineo Hiramatsu
2 . 発表標題 Carbon Nanowalls Propelling Social Innovations
3 . 学会等名 International Association of Advanced material (IAAM) Global Graphene Forum , Stockholm, Sweden , 2019/10/09 (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 T. Tsutsumi, H. Kondo, K. Ishikawa , K. Takeda, T. Ohta, M. Sekine, M. Ito, and M. Hori
2 . 発表標題 Plasma Processing with Feedback Control of Wafer Temperature By Non-Contact Temperature Measurement System
3 . 学会等名 236th ECS meeting , Atlanta, USA , 2019/10/16 (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Hiroschi Hashizume, Hidemi Kitano, Satoru Kinoshita, Genki Yuasa, Satoe Tohno, Mikiko Kojima, Yumiko Takebayashi, Hiromasa Tanaka, Kenji Ishikawa, Shogo Matsumoto, Hitoshi Sakakibara, Susumu Nikawa, Masayoshi Maeshima, Masaaki Mizuno, Masaru Hori
2 . 発表標題 Improvement of growth and yield of rice plants with plasma treatment
3 . 学会等名 3rd Asia Pacific Conference on Plasma , Hefei, China , 2019/11/04 (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1. 発表者名 Masaru Hori
2. 発表標題 Challenge of Plasma Sciences towards Green Innovations
3. 学会等名 Lecture at National Synchrotron Radiation Research Center , Taiwan National Synchrotron Radiation Research Center , 2019/11/04 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Masaru Hori
2. 発表標題 Low-temperature Plasma Science Open Multidisciplinary Applications for a Better and More Sustainable Future
3. 学会等名 Taiwan vacuum Society (TVS-2019) , Hsinchu, Taiwan National Chiao Tung University , 2019/11/01 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Masaru Hori and Mineo Hiramatsu
2. 発表標題 PN-3DGN-Plasma Nanoscience for 3D Graphene Network and Its Applications to Industry and Medicine
3. 学会等名 International Conference on Nanoscience and Materials World , Barcelona, Spain , 2019/11/18 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 H. Hashizume, H. Kitano, S.Mitsumoto, G. Yuasa, S. Tohno, M.Kojima, Y. Takebayashi, H. Mizuno, S. Kinoshita, K. Tsubota, H.Tanaka, K. Ishikawa, M.Ito, H. Sakakibara, M. Maeshima, T. Okuma, S.Nikawa, M. Mizuno, and M. Hori
2. 発表標題 Effects of Plasma Treatment on Plant Cultivation
3. 学会等名 4th Asian Pacific Physics conference , Sarawak, Malaysia , 2019/11/20 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 H. Tanaka, M. Mizuno, K. Ishikawa, S. Toyokuni, H. Kajiyama, F. Kikkawa and M. Hori
2. 発表標題 Plasma cancer treatments in the current plasma medical science
3. 学会等名 "29th Annual Meeting of MRS-Japan 2019", 横浜情報文化センター、横浜市開港記念会館, 2019/11/29 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 S. Ikehara, Y. Akimoto, T. Yamaguchi, H. Sakakita, M. Hori, and Y. Ikehara
2. 発表標題 Modulation of dispersion stability for serum albumin by through the plasma treatment
3. 学会等名 29th Annual Meeting of MRS-Japan 2019, 横浜情報文化センター、横浜市開港記念会館, 2019/11/27 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Masaru Hori
2. 発表標題 Advanced Plasma Processes Enabling Green and Life Innovations
3. 学会等名 Seminar at The Jozef Stefan Institute, Ljubljana, Slovenia, 2019/12/04 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hiroki Kondo, Shun Imai, Takayoshi Tsutsumi, Kenji Ishikawa, Makoto Sekine, Mineo Hiramatsu, and Masaru Hori
2. 発表標題 Changes of resistive elements during degradation of carbon nanowalls electrodes for fuel cell synthesized employing a CH ₄ /H ₂ mixture gas plasma
3. 学会等名 MATERIALS RESEARCH MEETING 2019, Yokohama, Japan, 2019/12/13 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 M. Hiramatsu, K. Miyashita, T. Oyama, K. Takeda, H. Kondo, M. Hori
2. 発表標題 Synthesis of Carbon Nanostructures using Microwave-Excited Atmospheric Pressure Plasma
3. 学会等名 MATERIALS RESEARCH MEETING 2019, Yokohama, Japan, 2019/12/12 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Masafumi Ito, Naoyuki Iwata, Vladislav Gamaleev, Moyotoyuki Shimizu, Masashi Kato, Masaru Hori
2. 発表標題 Agricultural and biorefinery applications using atmospheric-pressure plasmas
3. 学会等名 APSE2020, Chiang Mai Thailand, 2020/0131 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Masaru Hori
2. 発表標題 Control of growth, etching processes of graphene materials and their applications.
3. 学会等名 Gaseous Electronics Symposium3, Rogla, Slovenia, 2020/02/03 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Hiroki Kondo and Masaru Hori
2. 発表標題 Effect of multiphase plasma irradiation on alcohols for functional nanographene materials
3. 学会等名 Gaseous Electronics Symposium3, Rogla, Slovenia, 2020/02/03 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 堀 勝
2. 発表標題 工学を生きる
3. 学会等名 東京エレクトロン(株)社外見識者による講演会 "Visionary Talk2019", 東京エレクトロン 赤坂Bizタワー, 2019/12/19 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 堀 勝
2. 発表標題 低温プラズマ科学による産業およびバイオイノベーション, 2020/1/31
3. 学会等名 システムナノ技術に関する特別研究専門委員会 第3回研究会, 東京理科大学, 2020/1/31 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 堀 勝
2. 発表標題 最先端電子デバイスプロセスを拓く原子層エッチングプロセス技術の最前線, 2020/3/19
3. 学会等名 電気化学会第87回大会, 名古屋工業大学, 2020/3/19 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 伊藤昌文, 岩田直幸, 橋爪博司, 呉準席, 堀勝
2. 発表標題 殺菌と生長促進が可能なプラズマ活性溶液の開発
3. 学会等名 第35回 九州・山口プラズマ研究会, 長崎 対馬市交流センター 第3会議室, 2019/11/9 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石川健治、Geyong s. Hwang、林俊雄、堀勝、白谷正治
2. 発表標題 プラズマ誘起液相ラジカル連鎖反応
3. 学会等名 第35回 九州・山口プラズマ研究会，長崎 対馬市交流センター 第3会議室，2019/11/9（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 田中 宏昌、堀 勝
2. 発表標題 低温プラズマ医療科学の最前線
3. 学会等名 核融合科学研究所と低温プラズマ科学研究センターとの 連携・協力に関する協定書調印式・記念講演会，名古屋大学 減災ホール，2019/10/4（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 堀 勝
2. 発表標題 総括：プラズマによる生体・植物の制御技術と将来展望，2019/10/18
3. 学会等名 日本学術振興会 第153委員会 第142回研究会『医療と農業分野におけるプラズマ応用の新展開』，パナソニックセンター東京，2019/10/18（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 堀 勝
2. 発表標題 未来をつくるプラズマ
3. 学会等名 平成31年度 低温プラズマ科学研究センター市民公開講座「のぞいてみよう！プラズマと生物と医療・農業の不思議な世界」，名古屋大学（NIC），2019/8/1（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 堀 勝
2. 発表標題 低温プラズマ科学研究センターの概要
3. 学会等名 古屋大学低温プラズマ科学研究センター創立記念式典・講演会，名古屋大学 豊田講堂ホール，2019/7/23（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 堀 勝、石川健治、田中 宏昌、水野 正明、吉川 史隆、豊國 伸哉
2. 発表標題 低温プラズマの大気圧下での発生・発生源から生体への活性種輸送
3. 学会等名 第72回日本酸化ストレス学会学術集会，北海道立道民活動センター かでの 2・7，2019/6/27（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 第72回日本酸化ストレス学会学術集会，北海道立道民活動センター かでの 2・7，2019/6/27
2. 発表標題 プラズマ支援原子層プロセスにおける表界面反応層制御・診断
3. 学会等名 第4回 Atomic Layer Process (ALP) Workshop，大阪大学中之島センター，2019/6/21（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 堀 勝
2. 発表標題 "低温プラズマ科学研究の取り組みと共同利用・共同研究拠点としての研究推進 ～低温プラズマ科学による持続可能な地球の実現～"
3. 学会等名 企業基調講演（東京エレクトロン宮城株式会社），東京エレクトロン宮城，2019/4/23（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 堀 勝
2. 発表標題 低温プラズマ科学が拓くイノベーション
3. 学会等名 独立技術士交流委員会，名古屋技術士会中部本部 会議室，2019/4/25 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 堀 勝
2. 発表標題 大気圧プラズマを用いた医療応用の最前線
3. 学会等名 公益社団法人日本産婦人科学会 第71回学術講演会，名古屋国際会議場，2019/4/14 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 堀 勝
2. 発表標題 低温プラズマのレクチャー
3. 学会等名 名古屋大学低温プラズマ研究センター交流会，名古屋大学，2019/4/11 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yoshida K, Yoshikawa N, Ikeda Y, Nishino K, Utsumi F, Niimi K, Suzuki S, Kajiyama H, Kikkawa F.
2. 発表標題 The expression of vasucular endothelial growth factor in surgical specimens of patients with recurrent/radioresistant cervical cancer
3. 学会等名 The 26th COGI (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yoshida K, Yokoi A, Tamauchi S, Yoshihara M, Yoshikawa N, Nishino K, Niimi K, Suzuki S, Kajiyama H, Kikkawa F
2. 発表標題 Identification of unique miRNA profiling in squamous cell carcinoma arising from mature teratoma of ovary
3. 学会等名 第78 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 吉原雅人, 梶山広明, 杉山麻衣, 小屋美博, 横井暁, 伊吉祥平, 吉川史隆
2. 発表標題 [腫瘍別シンポジウム] 癌関連上皮細胞の卵巣癌腹膜播種進展における役割
3. 学会等名 第78 回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 梶山広明
2. 発表標題 進行卵巣癌に対する治療戦略～腹膜環境の安定化を目指して～
3. 学会等名 北海道婦人科がん研究会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 梶山広明
2. 発表標題 女性における気血水の異常を西洋医学的見地から考える
3. 学会等名 第5 回浅井国幹記念日本東洋医学会 東海支部学術講演会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 梶山広明
2. 発表標題 いま、改めて慢性病として卵巣癌を俯瞰する
3. 学会等名 Ovarian Cancer Scientific Exchange Meeting in Nagoya
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 吉川 史隆
2. 発表標題 プラズマ医療科学が拓く未来医療
3. 学会等名 低温プラズマ科学研究センター設立記念式典・講演会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 梶山広明
2. 発表標題 がん腹膜播種研究 Up-to-date ~どのように潜み、目覚め、そして拡がるのか？~
3. 学会等名 第12回兵庫県婦人科がん診療連携懇話会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 梶山広明
2. 発表標題 頻用処方から知っておきたい漢方薬のポイント ~がん領域を中心に~
3. 学会等名 領域別漢方セミナー~産婦人科編~（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 吉原雅人, 梶山広明, 杉山麻衣, 中村香江, 小屋美博, 伊吉祥平, 宇野 枢, 北見和久, 那波明宏, 吉川史隆
2. 発表標題 癌関連腹膜中皮細胞による卵巢癌細胞のプラチナ抵抗性獲
3. 学会等名 第18 回日本婦人科がん分子標的研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 吉田康将, 芳川修久, 白川 晶, 玉内学志, 池田芳紀, 西野公博, 新美 薫, 鈴木史朗, 梶山広明, 吉川史隆
2. 発表標題 早期の卵巢明細胞癌における予後因子としての好中球リンパ球比および血小板リンパ球比の検討
3. 学会等名 第61回日本婦人科腫瘍学会学術講演会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 吉原雅人, 梶山広明, 伊吉祥平, 玉内学志, 鈴木史朗, 吉川史隆
2. 発表標題 pT1 期卵巢類内膜癌における後腹膜リンパ節郭清の生命予後への影響：傾向スコアによる後方視的解析
3. 学会等名 第61回日本婦人科腫瘍学会学術講演会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 梶山広明
2. 発表標題 慢性病として卵巢癌に対する治療戦略
3. 学会等名 Ovarian Cancer Scientific Exchange Meeting in Kyoto (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 梶山広明
2. 発表標題 がん腹膜播種研究 Up-to-date ~改めて慢性病の視点から卵巣癌を考える~
3. 学会等名 第47回北陸産科婦人科学会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 吉川 史隆
2. 発表標題 会長講演 医療の常識・非常識 ~疑問から進歩へ~
3. 学会等名 第71回日本産科婦人科学会学術講演会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 梶山広明
2. 発表標題 生涯研修プログラム8 胚細胞腫瘍
3. 学会等名 第71回日本産科婦人科学会学術講演会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hattori S, Yoshikawa N, Ikeda Y, Nishino K, Utsumi F, Niimi K, Suzuki S, Kajiyama H, Kikkawa F
2. 発表標題 Can chemoradiotherapy be a treatment option for metastatic cervical cancer?
3. 学会等名 第71回日本産科婦人科学会学術講演会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yoshida K, Yokoi A, Ikeda Y, Yoshikawa N, Nishino K, Niimi K, Suzuki S, Kajiyama H, Kikkawa F
2. 発表標題 Identification of cancer specific miRNA in squamous cell carcinoma arising from mature teratoma of ovary using next-generation sequencing.
3. 学会等名 第71回日本産科婦人科学会学術講演会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yoshihara M, Kajiyama H, Sugiyama M, Koya Y, Yamakita Y, Yokoi A, Naw Aa, Kikkawa F
2. 発表標題 A novel mechanism of cancer evolution and acquired diversity of epithelial ovarian cancer in the peritoneal ecosystem.
3. 学会等名 第71回日本産科婦人科学会学術講演会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 梶山広明
2. 発表標題 進行再発卵巣癌に対する治療戦略～患者さんに合わせた最適な治療戦略を考える～
3. 学会等名 第71回日本産科婦人科学会学術講演会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Toyokuni S
2. 発表標題 Significance of ferroptosis in cancer research. Symposium 4: Cancer and redox biology.
3. 学会等名 The 9th Biennial Meeting of Society for Free Radical Research -Asia (SFRR-Asia) The Era for Redox Research（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Zheng Hao, Jiang Li, Uchida K, Toyokuni S.
2. 発表標題 The role of ferroptosis in physiological development of rat.
3. 学会等名 The 9th Biennial Meeting of Society for Free Radical Research -Asia (SFRR-Asia) The Era for Redox Research (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Li Z, Jiang L, Toyokuni S.
2. 発表標題 Carbonic anhydrase 9 protects human malignant mesothelioma cells from excessively catalytic iron-induced oxidative stress and cell death.
3. 学会等名 The 9th Biennial Meeting of Society for Free Radical Research -Asia (SFRR-Asia) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Toyokuni S.
2. 発表標題 Role of iron in disease states: the emergence of the concept of ferroptosis.
3. 学会等名 Biochemistry and Biophysics in the Postgenomic Era: an event organized in collaboration with editorial board of Archives of Biochemistry and Biophysics journal (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 豊國伸哉
2. 発表標題 石綿曝露による中皮腫（間皮腫）発症機序の解明とその予防
3. 学会等名 The 3rd China-Japan Joint Asbestos Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Toyokuni S.
2. 発表標題 Role of ferroptosis in carcinogenesis and tumor biology. SY29: Antioxidants and redox regulation.
3. 学会等名 The 7th Interenational Conference on Food Factors (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Toyokuni S, Jiang L, Li Z, Ito F and Akatsuka S.
2. 発表標題 Role of ferroptosis in carcinogenesis and tumor biology.
3. 学会等名 The 9th Biennial joing meeting of the Society for Free Radical Research Autralasia and Japan (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Toyokuni S.
2. 発表標題 Ferroptosis in cancer research: biological significance of ferroptosis in health and disease.
3. 学会等名 10th International Conference on Nutrition and Physical Activity in Aging, Obesity and Cancer (NAPA2019) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Toyokuni S.
2. 発表標題 Role of ferroptosis in carcinogenesis and tumor biology.
3. 学会等名 17th Annual Meeting of the Society for Free Radical Research India (SFRR India) and the International Conference on Role and management of Oxidative Stress in Human Disease (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 豊國伸哉
2. 発表標題 シンポジウム1：酸化ストレス・生活習慣病の病理 フェロトーシス抵抗性と発がん
3. 学会等名 第108回日本病理学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石田 萌、蔣 麗、豊國伸哉
2. 発表標題 低温プラズマ活性化培養液は悪性中皮腫の増殖と浸潤を阻害する
3. 学会等名 第108回日本病理学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 豊國伸哉、蔣 麗、岡崎泰昌
2. 発表標題 フェロトーシスの視点からみる低温プラズマの医療応用 ワークショップ1 大気圧プラズマによる活性酸素種の生成と生物応答
3. 学会等名 第72回日本酸化ストレス学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 伊藤文哉、豊國伸哉
2. 発表標題 鉄依存的酸化傷害によるP16(CDKN2A/2B)欠失の機構
3. 学会等名 第72回日本酸化ストレス学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 豊國伸哉
2. 発表標題 がん研究におけるフェロトーシス シンポジウム2：生体微量元素が関与する疾患メカニズムと治療戦略の新機軸
3. 学会等名 第30回日本微量元素学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 豊國伸哉
2. 発表標題 教育講演：アスベスト曝露による中皮腫発症機構の解明とその予防
3. 学会等名 第1回日本石綿・中皮腫学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 豊國伸哉
2. 発表標題 シンポジウム7：マウスモデルを用いた発がん研究を再考する 発がん実験から確立されたフェロトーシスのコンセプト
3. 学会等名 第78回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 赤塚慎也、蔣麗、伊藤文哉、豊國伸哉
2. 発表標題 鉄を介した酸化ストレスによる動物発がんモデルとゲノム変化
3. 学会等名 第78回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 李贇、蒋麗、豊國伸哉
2. 発表標題 Carbonic anhydrase 9 maintains iron metabolism and redox homeostasis in human malignant mesothelioma cells.
3. 学会等名 第78回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 豊國伸哉
2. 発表標題 Ferroptosis in cancer research.
3. 学会等名 第322回宮城県立がんセンターセミナー
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐藤康太郎、石 蕾、伊藤文哉、大原悠紀、本岡大社、田中宏昌、水野正明、堀勝、平山 祐、日比英晴、豊國伸哉
2. 発表標題 Non-thermal plasma specifically kills oral squamous cell carcinoma cells in a catalytic Fe(II)-dependent manner.
3. 学会等名 2019年度文部科学省新学術領域研究 学術研究支援基盤形成 先端モデル動物支援プラットフォーム 成果発表会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Li Z, Jiang L, Hirayama T, Toyokuni S.
2. 発表標題 Carbonic anhydrase 9 confers resistance to ferroptosis/apoptosis in malignant mesothelioma under hypoxia.
3. 学会等名 日本酸化ストレス学会東海支部第8回学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 赤塚慎也、豊國伸哉
2. 発表標題 鉄を介した酸化ストレスおよびアスベストによるゲノム変化と発がん
3. 学会等名 第19回分子予防環境医学研究会大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 豊國伸哉
2. 発表標題 教育講演1：がん研究におけるフェロトーシス
3. 学会等名 第19回分子予防環境医学研究会大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 豊國伸哉
2. 発表標題 がん研究におけるフェロトーシスの意義 シンポジウム32：生体金属が関与する疾患メカニズムと治療戦略の新機軸
3. 学会等名 日本薬学会第140年会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 久米慧嗣、村川泰裕、陳桂花、田村勝、小林紀郎、榎屋啓志、須賀三雄、前田光代、片岡洋祐
2. 発表標題 広域電子顕微鏡技術による生体組織のビッグデータ解析
3. 学会等名 第108回 日本病理学会総会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 片岡洋祐
2. 発表標題 疲労科学研究プラットフォームとその応用展開
3. 学会等名 第15回 日本疲労学会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 片岡洋祐
2. 発表標題 光治療の多様性と未来
3. 学会等名 第31回 日本レーザー治療学会・第22回日本レーザー・スポーツ医科学学会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 片岡洋祐、大和正典、前田光代
2. 発表標題 光とプラズマを用いた未来再生医療
3. 学会等名 第31回 日本レーザー治療学会・第22回日本レーザー・スポーツ医科学学会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 片岡洋祐
2. 発表標題 グリア前駆細胞による免疫制御
3. 学会等名 公益財団法人神戸医療産業都市推進機構先端医療研究センターセミナー（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Maeda, M., Suga, M., Nakamura, M., Suzuki, K., Hasebe, Y., Kikuchi, N., Yamagichi, Y., Eguchi, A., Kume, S., Matsuzaki, R., Ueda, C., Kataoka, Y.
2. 発表標題 Analysis of age-dependent change of tissue microstructure in mouse cerebral cortex using large-scale electron microscopy.
3. 学会等名 第42回日本神経科学大会第62回日本神経化学会大会合同大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yamato, M., Tamura, Y., Maeda, M., Eguchi, A., Kume, S., Kataoka, Y.
2. 発表標題 Large-scale electron microscopic analysis of change of tissue microstructure in adult rat cerebral cortex after irradiation of atmospheric-pressure plasma.
3. 学会等名 Neuro 2019
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kataoka, Y., Tamura, Y., Kume, S., Maeda, M., Eguchi, A., Suga, M.
2. 発表標題 Multi-modal imaging of glial progenitor cells.
3. 学会等名 Neuro 2019
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Danno, S., Nakano, M., Goto, T., Wrabel, A., Sakaue-Sawano, A., Ando, R., Miyawaki, A., Funabiki, K., Kataoka, Y.
2. 発表標題 In vivo imaging of cancer microenvironment using fiber-bundle based micro-endoscope.
3. 学会等名 第60回日本組織細胞化学会総会学術集会・第13回日中合同組織細胞化学セミナー合同大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 片岡洋祐、久米慧嗣、前田光代、江口麻美、須賀三雄
2. 発表標題 広域電子顕微鏡技術と画像ビューアーの開発
3. 学会等名 第60回日本組織細胞化学会総会学術集会・第13回日中合同組織細胞化学セミナー合同大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 久米慧嗣、片岡洋祐
2. 発表標題 広域超微細構造イメージング法とAI技術を用いた網羅的生体組織形態解析
3. 学会等名 第51回日本臨床分子形態学会総会・学術集会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 久米慧嗣、片岡洋祐
2. 発表標題 Comprehensive Morphology Analysis Using The Wide-range Electron Microscopy Imaging and Machine Learning
3. 学会等名 理化学研究所-広島大学 合同シンポジウム「イメージングから理論」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 片岡洋祐
2. 発表標題 multi-modal imaging of stem/progenitor cells or cancer cells with PET, optical imaging, and micro-endoscopy
3. 学会等名 理化学研究所-広島大学 合同シンポジウム「イメージングから理論」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kataoka, Y., Tamura, Y., Yamato, M., Kume, S., Takata, K., Eguchi, A., Maeda, M.
2. 発表標題 Dynamics and roles of NG2-expressing progenitor cells.
3. 学会等名 A3 Foresight Program Meeting 2019
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kume, S., Kataoka, Y.
2. 発表標題 Comprehensive analysis of ultra microstructural microscopy images using machine learning.
3. 学会等名 A3 Foresight Program Meeting 2019
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 片岡洋祐
2. 発表標題 最先端生命科学の今と未病予防。
3. 学会等名 第11回国際健康健美長寿フォーラム博覧会・第2回世界大健康運動会学術フォーラム（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西村深雪、魚津伸夫、由井慶、高田孔美、田村泰久、片岡洋祐
2. 発表標題 小麦末粉水抽出物が脳機能へ及ぼす影響
3. 学会等名 第41回日本臨床栄養学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Maeda, M., Suga, M., Eguchi, A., Kume, S., Ueda, C., Kataoka, Y.
2. 発表標題 Analysis of age-dependent change of tissue microstructure in mouse cerebral cortex using large-scale electron microscopy.
3. 学会等名 RIKEN Aging Project Symposium 2020
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 片岡洋祐
2. 発表標題 疲労倦怠感と脳内神経炎症
3. 学会等名 第52回京阪泌尿器腫瘍セミナー（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 古閑一憲, 石橋勇志, S. Chetphilin, 田中颯, 佐藤僚哉, 有田涼, 廣松真弥, 石川健治, P. Attri, 松尾かよ, 山下大輔, 板垣奈穂, 鎌滝晋礼, 白谷正治
2. 発表標題 高温障害を持つイネ種の発芽特性に対するプラズマ照射の効果
3. 学会等名 第67回応用物理学会春季学術講演会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 石川健治, P. Attri, 奥村賢直, 古閑一憲, 有田涼, 佐藤僚哉, 田中颯, 廣松真弥, 松尾かよ, 山下大輔, 鎌滝晋礼, 板垣奈穂, 堀勝, 白谷正治
2. 発表標題 プラズマ照射したカイワレ種の吸水の時間推移評価
3. 学会等名 第67回応用物理学会春季学術講演会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 廣松真弥, 有田涼, 田中颯, 佐藤僚哉, 松尾かよ, 山下大輔, 板垣奈穂, 鎌滝晋礼, P. Attri, 石川健治, 古閑一憲, 白谷正治
2. 発表標題 レタス幼苗重量分布に対する種子エイジングとプラズマ照射の効果
3. 学会等名 プラズマ・核融合学会九州・沖縄・山口支部 第23回支部大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 田中颯, 有田涼, 廣松真弥, 佐藤僚哉, 松尾かよ, 山下大輔, 板垣奈穂, 鎌滝晋礼, P. Attri, 石川健治, 古閑一憲, 白谷正治
2. 発表標題 イネ種子に対するプラズマ照射効果のフィールドテスト
3. 学会等名 プラズマ・核融合学会九州・沖縄・山口支部 第23回支部大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 田中颯, 有田涼, 廣松真弥, 佐藤僚哉, 松尾かよ, 山下大輔, 板垣奈穂, 鎌滝晋礼, P. Attri, 石川健治, 古閑一憲, 白谷正治
2. 発表標題 プラズマ照射したカイワレダイコン種子の発芽促進機構 - 吸水時の種子内ラジカル動態 -
3. 学会等名 プラズマ・核融合学会九州・沖縄・山口支部 第23回支部大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 古閑一憲, 佐藤僚哉, 吉田知晃, 有田涼, 田中颯, 廣松真弥, 鎌滝晋礼, 板垣奈穂, 白谷正治
2. 発表標題 プラズマ照射した種籾の圃場栽培試験
3. 学会等名 第36回プラズマ・核融合学会年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 R. Sato, M. Hiromatsu, K. Matsuo, T. Yoshida, R. Arita, K. Kamataki, N. Itagaki, K. Koga, M. Shiratani
2. 発表標題 Effect of Plasma Irradiation to Seeds of Lactuca Sativa on Histogram of Fresh Weight of Their Seedling
3. 学会等名 29th Annual Meeting of MRS-J (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Influence of co-solvents on protein folding during plasma treatment
2. 発表標題 Influence of co-solvents on protein folding during plasma treatment
3. 学会等名 29th Annual Meeting of MRS-J (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 A. Tanaka, K. Koga, M. Shiratani
2. 発表標題 Health Effects of Rice Harvested from Plasma-Irradiated Rice Seeds Administered Orally in Mice
3. 学会等名 29th Annual Meeting of MRS-J (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 K. Koga, M. Shiratani, V. Mildaziene
2. 発表標題 Metabolomics Approach for Studying Effects of Atmospheric Air Plasma Irradiation to Seeds
3. 学会等名 29th Annual Meeting of MRS-J (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1 . 発表者名 K. Koga, M. Shiratani
2 . 発表標題 Impact of Atmospheric Pressure Plasma Irradiation to Seeds on Agricultural Productivity
3 . 学会等名 3rd Asia-Pacific Conference on Plasma Physics (AAPPS-DPP2019) (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 K. Koga, M. Shiratani
2 . 発表標題 Cost-Effective Crop Yield Improvement using Non-Thermal Plasmas - from Laboratory to Table
3 . 学会等名 The 12th Asian-European International Conference on Plasma Surface Engineering (AEPSE2019) (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 K. Koga, K. Kamataki, N. Itagaki, M. Shiratani, V. Mildaziene
2 . 発表標題 Influence of Seed Coat Color on Reactive Species in Plasma Irradiated Seeds of Radish Sprouts
3 . 学会等名 XXXIV International Conference on Phenomena in Ionized Gases (XXXIV ICPIG) & 10th International Conference on Reactive Plasmas (ICRP-10) (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 V. Mildaziene, L. Degutyte, Fomin, G. Pauzaitė, A. Ivankov, R. Zukiene, Z. Nauciene, I. Filatova, V. Lyushkevich, K. Koga, M. Shiratani
2 . 発表標題 Cold plasma treatment stimulates seed germination by inducing dormancy loss due to changes in phytohormone balance
3 . 学会等名 XXXIV International Conference on Phenomena in Ionized Gases (XXXIV ICPIG) & 10th International Conference on Reactive Plasmas (ICRP-10) (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2019年

〔図書〕 計7件

1. 著者名 Hiromasa Tanaka, Mounir Laroussi, Sander Bekeschus, Dayun Yan, Masaru Hori, and Michael Keidar	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Springer Nature	5. 総ページ数 310
3. 書名 Plasma Cancer Therapy	

1. 著者名 吉川 史隆	4. 発行年 2019年
2. 出版社 株式会社南江堂	5. 総ページ数 314
3. 書名 産科婦人科疾患 最新の治療2019-2021 編集	

1. 著者名 梶山 広明	4. 発行年 2019年
2. 出版社 メディカ出版	5. 総ページ数 264
3. 書名 ヘルスケアプロバイダーのためのがん・生殖医療「症例別に学ぼう！婦人科がん」	

1. 著者名 梶山 広明	4. 発行年 2019年
2. 出版社 株式会社南江堂	5. 総ページ数 314
3. 書名 産科婦人科疾患 最新の治療2019-2021 「胚細胞腫瘍」	

1. 著者名 梶山 広明	4. 発行年 2019年
2. 出版社 医歯薬出版	5. 総ページ数 140
3. 書名 別冊・医学のあゆみ 婦人科がん 研究・臨床の新展開「悪性卵巣胚細胞腫瘍：診断・治療Update」	

1. 著者名 梶山 広明	4. 発行年 2019年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 2160
3. 書名 今日の治療指針2019 産婦人科疾患【腔・外陰癌】	

1. 著者名 久米慧嗣、小林宣夫、片岡洋祐	4. 発行年 2019年
2. 出版社 株式会社技術情報協会	5. 総ページ数 598
3. 書名 ストレス・疲労のセンシングとその評価技術 第3節「疲労・ストレス・未病時における分子代謝・超微細構造に基づくバイオマーカー探索研究の取り組み」	

〔出願〕 計7件

産業財産権の名称 農作物の生産方法および土壌の生産方法	発明者 堀 勝	権利者 同左
産業財産権の種類、番号 特許、2022-102134	出願年 2022年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 プラズマ照射水溶液およびその製造方法、プラズマ照射水溶液生成装置、殺菌方法	発明者 橋爪 博司	権利者 同左
産業財産権の種類、番号 特許、2023-016083	出願年 2022年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 幼若化した細胞の調製システム、および幼若化した細胞の製造方法	発明者 堀 勝	権利者 同左
産業財産権の種類、番号 特許、2022-168671	出願年 2022年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 トリプトファン分解物の製造方法、フォルミルキヌレニンの製造方法、キヌレニンの製造方法、トリプトファンラジカル含有水溶液の製造方法、および、殺菌用水溶液	発明者 堀 勝	権利者 同左
産業財産権の種類、番号 特許、2023-020290	出願年 2023年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 イネの生産方法	発明者 堀 勝、他8名	権利者 同左
産業財産権の種類、番号 特許、2020-141466	出願年 2020年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 イネの生産方法	発明者 堀 勝、橋爪 博 司、他7名	権利者 同左
産業財産権の種類、番号 特許、PCT/JP2019/030643	出願年 2019年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 イネの生産方法	発明者 堀 勝、橋爪 博 司、他7名	権利者 同左
産業財産権の種類、番号 特許、PCT/JP2019/030663	出願年 2019年	国内・外国の別 国内

〔取得〕 計0件

〔その他〕

https://www.plasma.nagoya-u.ac.jp/ https://horilab.nuee.nagoya-u.ac.jp/ https://horilab.nuee.nagoya-u.ac.jp/ https://www.plasma.nagoya-u.ac.jp/ 低温プラズマ科学研究センター https://www.plasma.nagoya-u.ac.jp/ 堀石川研究室ホームページ https://horilab.nuee.nagoya-u.ac.jp/ 低温プラズマ科学研究センター https://www.plasma.nagoya-u.ac.jp/ 研究室ホームページ http://horilab.nuee.nagoya-u.ac.jp/

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	梶山 広明 (Kajiyama Hiroaki) (00345886)	名古屋大学・医学系研究科・教授 (13901)	
研究分担者	伊藤 昌文 (Ito Masafumi) (10232472)	名城大学・理工学部・教授 (33919)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	片岡 洋祐 (Kataoka Yousuke) (40291033)	国立研究開発法人理化学研究所・生命機能科学研究センター・チームリーダー (82401)	
研究分担者	白谷 正治 (Shiratani Masaharu) (90206293)	九州大学・システム情報科学研究所・教授 (17102)	
研究分担者	豊國 伸哉 (Toyokuni Shinya) (90252460)	名古屋大学・医学系研究科・教授 (13901)	
研究分担者	榊原 均 (Sakakibara Hitoshi) (20242852)	名古屋大学・生命農学研究科・教授 (13901)	
研究分担者	松本 省吾 (Matsumoto Shogo) (90241489)	名古屋大学・生命農学研究科・教授 (13901)	
研究分担者	古閑 一憲 (Koga Kazunori) (90315127)	九州大学・システム情報科学研究所・教授 (17102)	削除：2022年7月11日
研究分担者	吉川 史隆 (Kikkawa Fumitaka) (40224985)	名古屋大学・医学系研究科・教授 (13901)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計5件

国際研究集会 2nd Global Plasma Forum	開催年 2020年～2020年
-----------------------------------	--------------------

国際研究集会 3rd Global Plasma Forum	開催年 2020年～2020年
国際研究集会 4th Global Plasma Forum	開催年 2020年～2020年
国際研究集会 5th Global Plasma Forum	開催年 2021年～2021年
国際研究集会 The 1st Global Plasma Forum	開催年 2020年～2020年

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------